

第2期船員保険データヘルス計画の評価及び 第3期船員保険データヘルス計画策定に当たっての基本資料



目次

■ 基本情報	
①被保険者等の推移、健診・特定保健指導実績	3
②被保険者の年齢構成	4
③都道府県別の被保険者数	5
■ 基本分析における現状の把握	
①診療種別医療費の推移	6
②疾病別医療費（入院・入院外）	7
③生活習慣病の年齢階層別有病者数と医療費	9
④協会けんぽ加入者との各リスク保有率の比較	10
⑤肥満・非肥満者の経年変化、年齢階層別肥満者割合	14
⑥生活習慣の経年変化（喫煙）	16
⑦生活習慣の経年変化（飲酒）	18
⑧生活習慣の経年変化（運動習慣）	21
⑨精神疾患の有病者	23
⑩特定保健指導対象者割合（船員手帳健康証明書・生活習慣病予防健診）	25
⑪歯科医療費	26
⑫歯科の受診・未受診の状況	29
⑬咀嚼の状態	32

基本情報① ≪被保険者等の推移、健診・特定保健指導実績≫

【船員保険被保険者の特徴】

○被保険者の約98%が男性です。
○被保険者数は減少傾向にあります。

被保険者数等の推移（各年度末）

区分		2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	対2021年度 増減	
被保険者数		58,413	58,309	57,858	57,092	56,952	▲140人	
	再掲	女性	972	992	1,098	1,083	1,111	+28人
		任意継続 被保険者	2,704	2,488	2,716	2,440	2,140	▲300人
被扶養者数		61,060	59,373	57,819	56,083	53,822	▲2,261人	
加入者数		119,473	117,682	115,677	113,175	110,774	▲2,401人	
船舶所有者数		5,623	5,626	5,621	5,607	5,594	▲13	

健診実績

【集計対象者】：各年度継続在籍の40歳以上の被保険者および被扶養者かつ健診受診者

※健診実施率・・・健診受診者数(各年度ずっと継続して在籍していた40歳以上の健診受診者)÷特定健診対象者数(各年度ずっと継続して在籍していた40歳以上の継続加入者)

【集計年度】：2018(H30)～2022(R4)年度

特定保健指導実績

【集計対象者】：各年度継続在籍の40歳以上の被保険者および被扶養者かつ特定保健指導対象者

※特定保健指導対象者・・・動機づけ支援および積極的支援該当者

※特定保健指導実施率・・・特定保健指導実施者数(各年度ずっと継続して在籍していた40歳以上の健診受診者)÷特定保健指導対象者数(各年度ずっと継続して在籍していた40歳以上の継続加入者)

【集計年度】：2018(H30)～2022(R4)年度

健診実績

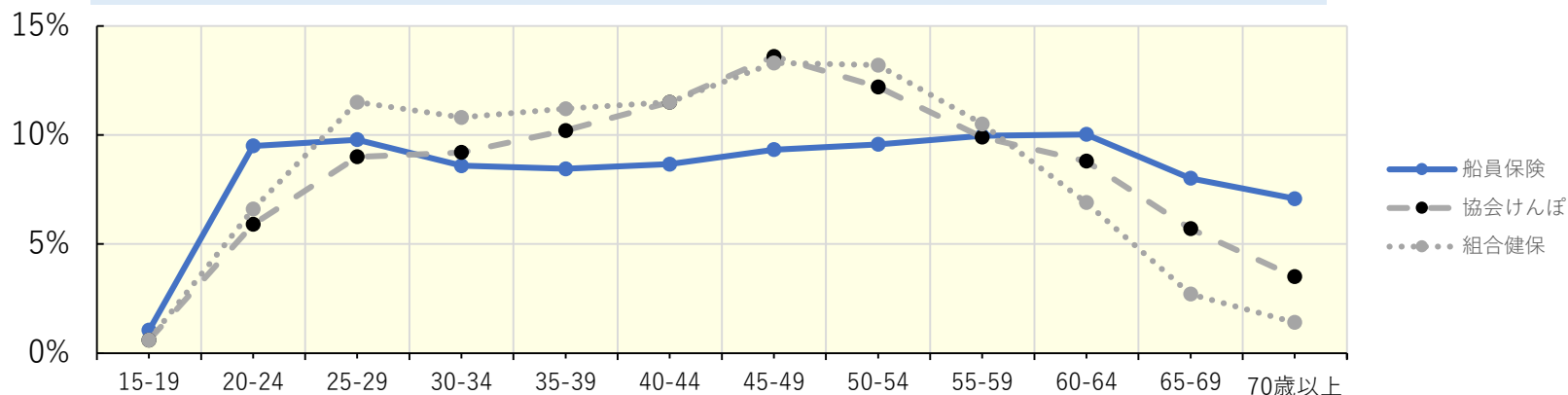
区分		2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	
被保険者	対象者数	36,418	36,061	35,618	35,031	34,058	
	実施率	66.3%	68.9%	67.2%	66.4%	64.3%	
	実施者数	24,136	24,857	23,940	23,259	21,897	
	再掲	生活習慣病 予防健診	41.2%	43.4%	42.5%	44.9%	46.4%
		船員手帳 健康証明書 データ取得	14,998	15,654	15,133	15,743	15,812
被扶養者	25.1%	25.5%	24.7%	21.5%	17.9%		
	9,138	9,203	8,807	7,516	6,085		
被扶養者	対象者数	21,791	21,201	20,380	19,416	18,071	
	実施率	25.0%	25.1%	24.4%	26.7%	28.9%	
	実施者数	5,441	5,321	4,969	5,179	5,219	
合計	対象者数	58,209	57,262	55,998	54,447	52,129	
	実施率	50.8%	52.7%	51.6%	52.2%	52.0%	
	実施者数	29,577	30,178	28,909	28,438	27,116	

特定保健指導実績

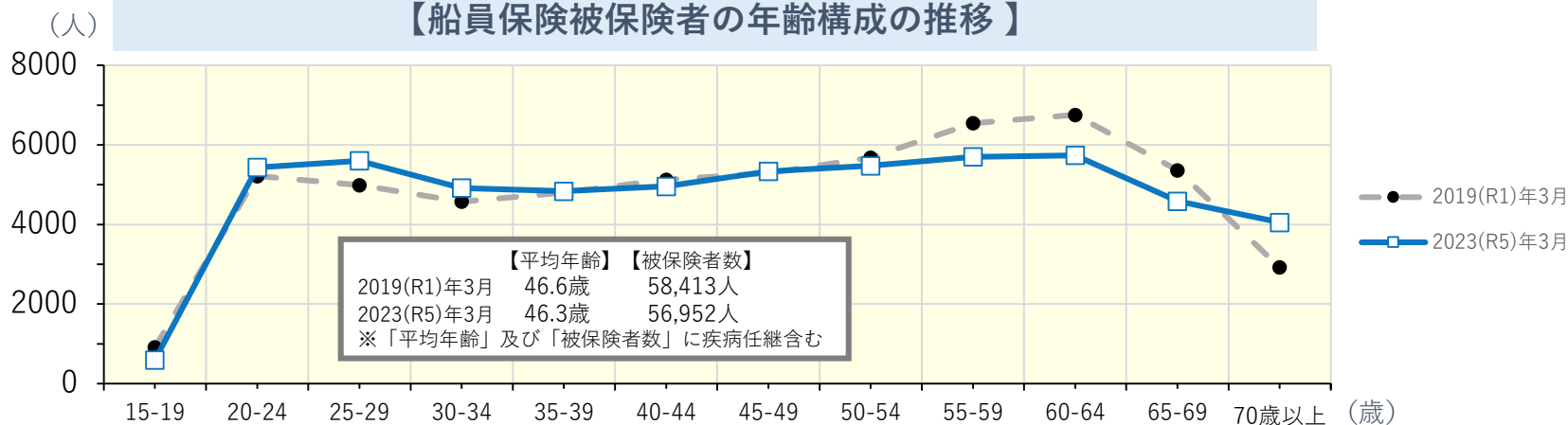
区分		2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)
被保険者	対象者数	9,039	9,724	9,357	8,609	7,924
	実施率	8.4%	8.3%	11.0%	13.0%	13.7%
被扶養者	実施者数	762	806	1,027	1,121	1,088
	対象者数	527	548	569	560	510
合計	実施率	18.2%	17.7%	20.7%	22.5%	21.8%
	実施者数	96	97	118	126	111
合計	対象者数	9,566	10,272	9,926	9,169	8,434
	実施率	9.0%	8.8%	11.5%	13.6%	14.2%
	実施者数	858	903	1,145	1,247	1,199

基本情報② ≪被保険者の年齢構成≫

【制度別被保険者の年齢構成の比較(2023(R4)年3月31日現在)】



【船員保険被保険者の年齢構成の推移】



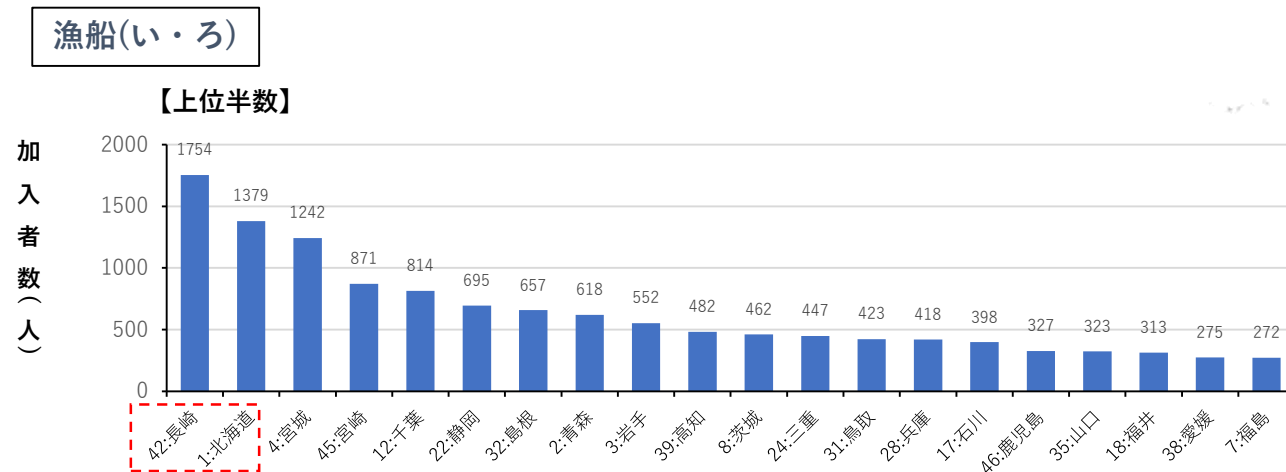
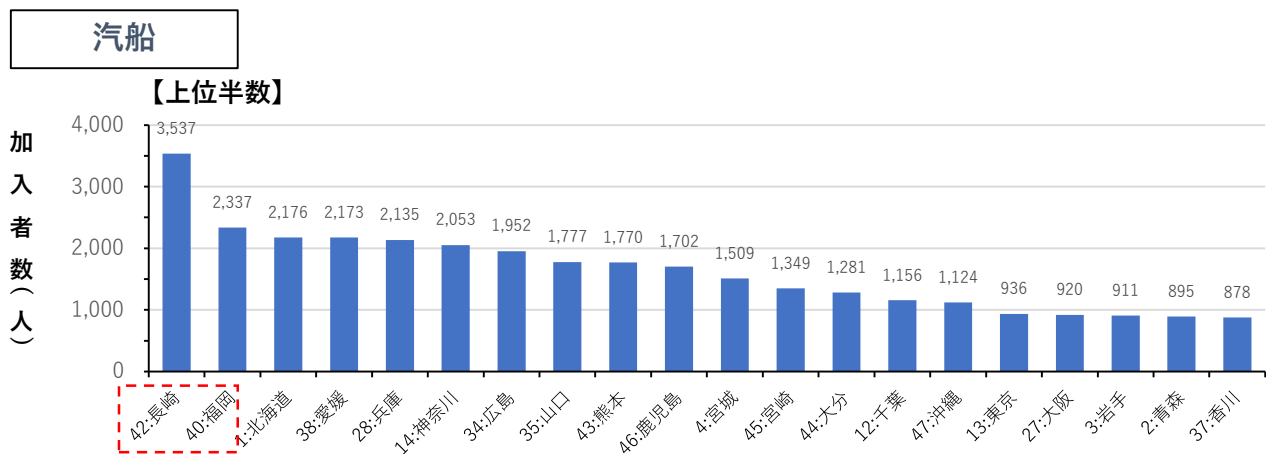
組合健保の年齢構成参照先：健保連「年齢階級別加入者数調査」（令和4年10月末現在）

協会けんぽの年齢構成参照先：令和3年度事業年報 厚生労働省保険局調査課資料 加入者の年齢階級別構成割合（令和3年9月30日現在）

○船員保険の被保険者は、協会けんぽ及び組合健保に比べて30歳代から50歳代前半の割合が低く、60歳代以降の割合が高い状況にあります。
 ○2019(R1)年3月と2023(R5)年3月の年齢階級別の人数を比較すると、50歳代後半から60歳代的人数が大きく減少しています。

基本情報③ ≪都道府県別の被保険者数≫

図表 被保険者住所の都道府県別被保険者数 (2022(R4)年度)

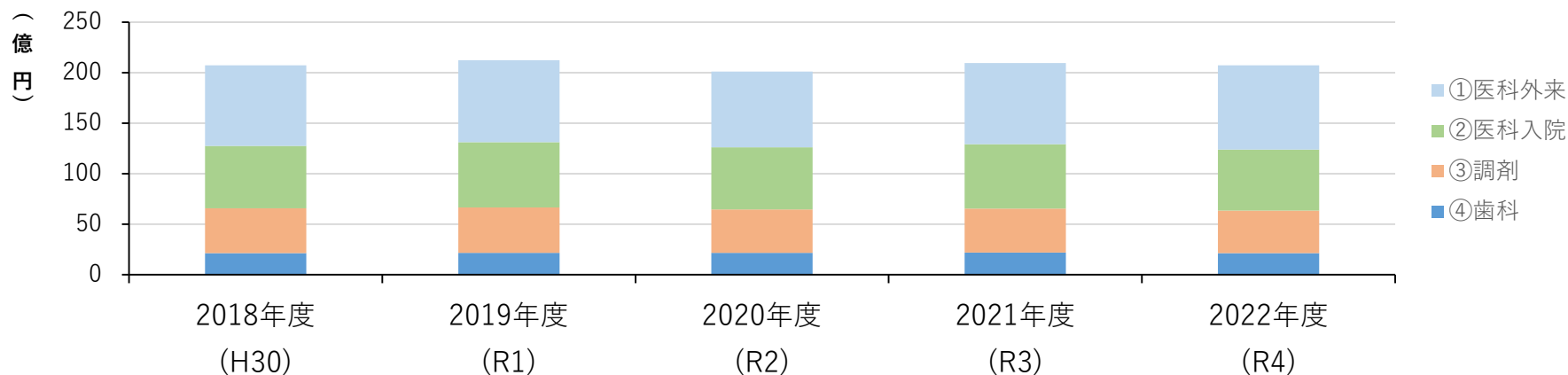


○2022(R4)年度末時点の被保険者数について、船種別で被保険者の住所ごとに都道府県別に示しています。
 ○被保険者数の都道府県別人数の上位は、汽船では長崎・福岡等、漁船では長崎・北海道等です。

【集計対象者】：2022(R4)年度末時点在籍の被保険者
 【集計年度】：2022(R4)年度

基本分析による現状の把握① ≪診療種別医療費の推移≫

図表 診療種別の推計 (2018(H30)年度～2022(R4)年度)



○診療種別(医科外来・医科入院・調剤・歯科)毎の2018(H30)年度から2022(R4)年度の医療費の伸び率を示しています。

区分		2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)
① 医科外来	(医療費)	79.84億円	81.11億円	75.10億円	80.37億円	83.52億円
	(対前年度伸び率)	—	1.59%	▲7.41%	7.02%	3.92%
② 医科入院	(医療費)	61.96億円	64.67億円	61.38億円	63.71億円	60.49億円
	(対前年度伸び率)	—	4.37%	▲5.09%	3.80%	▲5.05%
③ 調剤	(医療費)	44.19億円	44.99億円	43.00億円	43.59億円	42.03億円
	(対前年度伸び率)	—	1.82%	▲4.41%	1.36%	▲3.58%
④ 歯科	(医療費)	21.49億円	21.69億円	21.64億円	21.87億円	21.38億円
	(対前年度伸び率)	—	0.89%	▲0.20%	1.05%	▲2.24%
総医療費 (①+②+③+④)	(医療費)	207.48億円	212.45億円	201.12億円	209.54億円	207.41億円
	(対前年度伸び率)	—	2.40%	▲5.33%	4.18%	▲1.01%

【出典】：船員保険事業年報

【集計年度】：2018(H30)年度～2022(R4)年度

【集計レセプト】：医科外来・医科入院・調剤・歯科・DPC

※職務外のレセプトであること

(職務上の事由コードがあるレセプトデータを含めない)

基本分析による現状の把握② ≪ 疾病別医療費(入院) ≫

図表 入院 – 傷病分類別の推計 (2018(H30)年度～2022(R4)年度)

(単位：億円)

傷病分類名(疾病21分類)	2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)
	医療費	医療費	医療費	医療費	医療費
09：循環器系の疾患	12.61	12.74	11.79	12.43	12.18
02：新生物<腫瘍>	8.17	8.82	8.27	7.31	7.16
11：消化器系の疾患	6.77	6.58	6.51	6.96	6.36
04：内分泌、栄養及び代謝疾患	5.21	5.39	5.69	5.89	5.79
19：損傷、中毒及び外因性	5.69	6.17	5.31	5.88	5.72
18：他に分類されないもの	3.00	2.89	3.24	3.01	3.39
13：筋骨格系及び結合組織の疾患	3.84	4.17	3.76	3.45	3.35
10：呼吸器系の疾患	3.32	3.47	2.67	3.40	2.87
16：周産期に発生した病態	1.88	1.90	2.30	2.24	2.31
14：腎尿路生殖器系の疾患	1.64	1.86	1.75	1.73	1.45
03：血液・造血系・免疫機構障害	1.59	1.97	1.64	1.90	1.38
15：妊娠、分娩及び産じょく	1.38	1.27	1.37	1.36	1.38
17：先天奇形、変形及び染色体異常	1.18	1.20	1.06	1.20	1.36
06：神経系の疾患	1.57	1.72	1.43	1.54	1.33
07：眼及び付属器の疾患	1.35	1.34	1.08	1.28	1.09
01：感染症及び寄生虫症	0.90	0.92	0.89	0.96	0.87
99：不明	0.68	0.84	0.87	0.66	0.74
22：特殊目的用コード(COVID-19等)	0.00	0.00	0.25	1.16	0.66
12：皮膚及び皮下組織の疾患	0.52	0.54	0.48	0.53	0.54
05：精神及び行動の障害	0.30	0.55	0.73	0.37	0.36
08：耳及び乳様突起の疾患	0.35	0.33	0.28	0.45	0.20
計	61.96	64.67	61.38	63.71	60.49

○ 医科入院の2018(H30)年度から2022(R4)年度の傷病別(疾病大分類)の医科入院医療費を示しています。

【集計対象者】：各年度在籍の被保険者・被扶養者

【集計年度】：2018(H30)年度～2022(R4)年度

【集計レセプト】：医科入院(代表疾病のみ、疑い疾患含む)

※医療費には、食事療養費・生活療養費を含まない

※職務外のレセプトであること

(職務上の事由コードがあるレセプトデータを含めない)

基本分析による現状の把握② ≪ 疾病別医療費(入院外) ≫

図表 入院外 – 傷病分類別の推計 (2018(H30)年度～2022(R4)年度)

(単位：億円)

傷病分類名(疾病21分類)	2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)
	医療費	医療費	医療費	医療費	医療費
10：呼吸器系の疾患	9.54	9.37	6.53	8.41	11.65
04：内分泌、栄養及び代謝疾患	10.67	10.63	9.84	10.21	9.79
11：消化器系の疾患	8.60	8.60	8.28	8.83	8.58
02：新生物<腫瘍>	5.83	7.26	7.21	7.41	6.61
09：循環器系の疾患	6.62	6.47	5.97	5.94	5.58
18：他に分類されないもの	4.31	4.71	4.32	5.00	5.46
13：筋骨格系及び結合組織の疾患	6.61	6.41	5.80	5.78	5.41
12：皮膚及び皮下組織の疾患	4.19	4.37	4.25	4.45	4.35
07：眼及び付属器の疾患	4.05	4.03	3.90	3.85	3.86
01：感染症及び寄生虫症	3.77	3.72	3.44	3.66	3.52
14：腎尿路生殖器系の疾患	3.66	3.52	3.15	3.25	3.40
06：神経系の疾患	2.97	2.96	2.85	3.14	3.17
22：特殊目的用コード(COVID-19等)	0.00	0.00	0.15	0.87	3.11
03：血液・造血器・免疫機構障害	2.22	2.36	3.09	3.13	2.75
19：損傷、中毒及び外因性	2.84	2.78	2.60	2.55	2.61
05：精神及び行動の障害	1.71	1.70	1.58	1.60	1.49
99：不明	0.74	0.74	0.74	0.86	0.77
08：耳及び乳様突起の疾患	0.65	0.65	0.57	0.64	0.57
17：先天奇形、変形及び染色体異常	0.45	0.50	0.42	0.45	0.39
16：周産期に発生した病態	0.28	0.21	0.29	0.27	0.34
15：妊娠、分娩及び産じょく	0.11	0.11	0.10	0.09	0.09
計	79.84	81.11	75.10	80.37	83.52

○ 医科入院外(医科外来)の2018(H30)年度から2022(R4)年度の傷病別(疾病大分類)の医科外来医療費を示しています。

【集計対象者】：各年度在籍の被保険者・被扶養者

【集計年度】：2018(H30)年度～2022(R4)年度

【集計レセプト】：医科外来(代表疾病のみ、疑い疾患含む)

※医療費には、食事療養費・生活療養費を含まない

※職務外のレセプトであること

(職務上の事由コードがあるレセプトデータを含めない)

基本分析による現状の把握 ③ ≪生活習慣病の年齢階層別有病者数と医療費≫

○年齢階層別に2022(R4)年度の生活習慣病(糖尿病・高血圧・脂質異常症)医療費と有病者数を示しています。

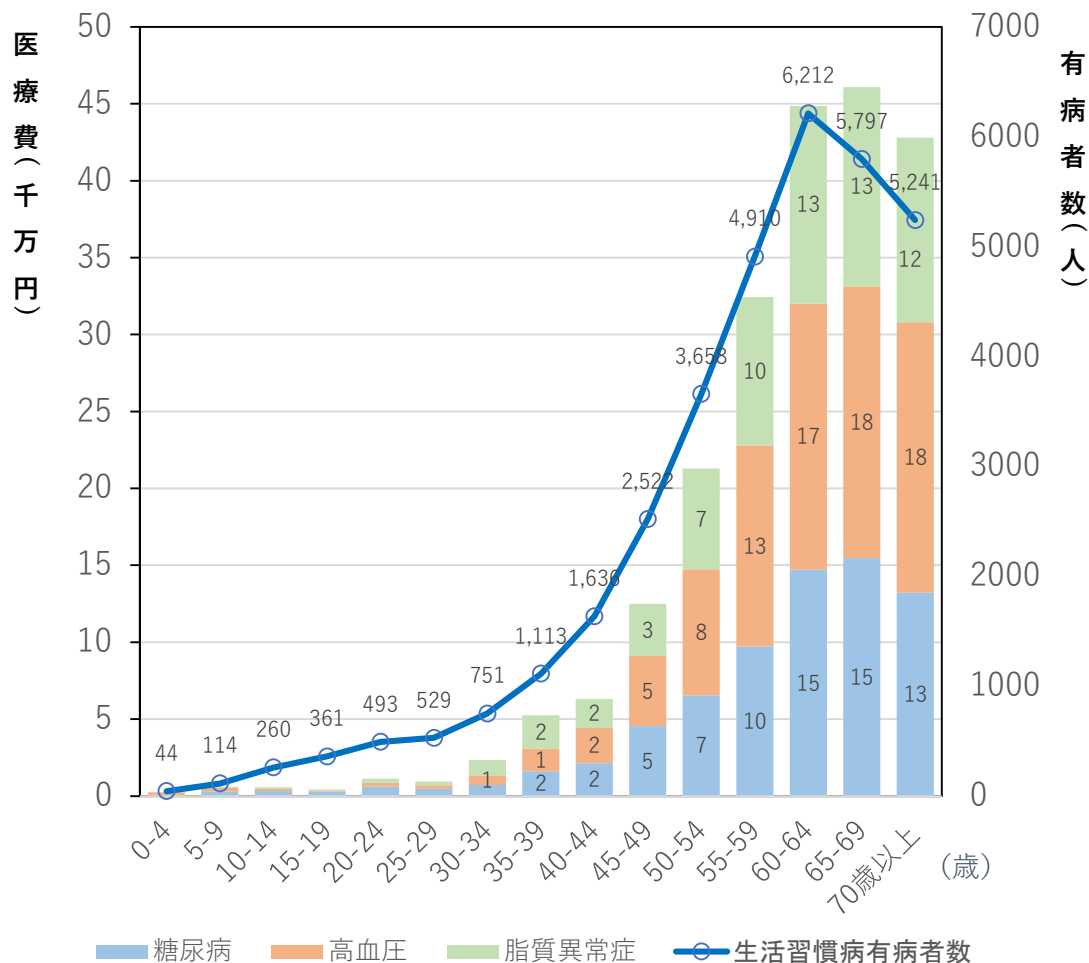
○生活習慣病の有病者は35～39歳ごろから徐々に増加が始まります。60～64歳がピークで6,212人です。60～64歳で生活習慣病有病者数の約5分の1を占めています。

【集計対象者】：2022(R4)年度在籍の被保険者・被扶養者
 【集計年度】：2022(R4)年度
 【集計レセプト】：医科外来・医科入院レセプト
 【集計点数】：傷病別医療費分配処理を実施した決定点数
 (代表疾病以外含む、疑い疾患含む)

※職務外のレセプトであること
 (職務上の事由コードがあるレセプトデータを含めない)
 ※糖尿病・・・ICD10コード前方3桁が「E11」～「E14」
 ※高血圧症・・・ICD10コード前方3桁が「I10」～「I15」
 ※脂質異常症・・・ICD10コード前方3桁が「E78」

※生活習慣病有病者数・・・
 傷病別医療費分配処理実施後のレセプトにおいて、糖尿病または高血圧または脂質異常症に該当するレセプトが発生している者の人数
 (代表疾病以外含む、疑い疾患含む)

図表 年齢階層別生活習慣病医療費と有病者数(2022(R4)年度)



基本分析による現状の把握 ④ -1 ≪協会けんぽ加入者との各リスク保有率比較≫

○協会けんぽ被保険者(男性)との各リスク保有率の比較を示しています。

○協会けんぽ被保険者(男性)と比較すると各リスク保有率が高い水準にあります。

※船員保険の被保険者は約98%が男性であることから、協会けんぽ被保険者の男性と比較しています。

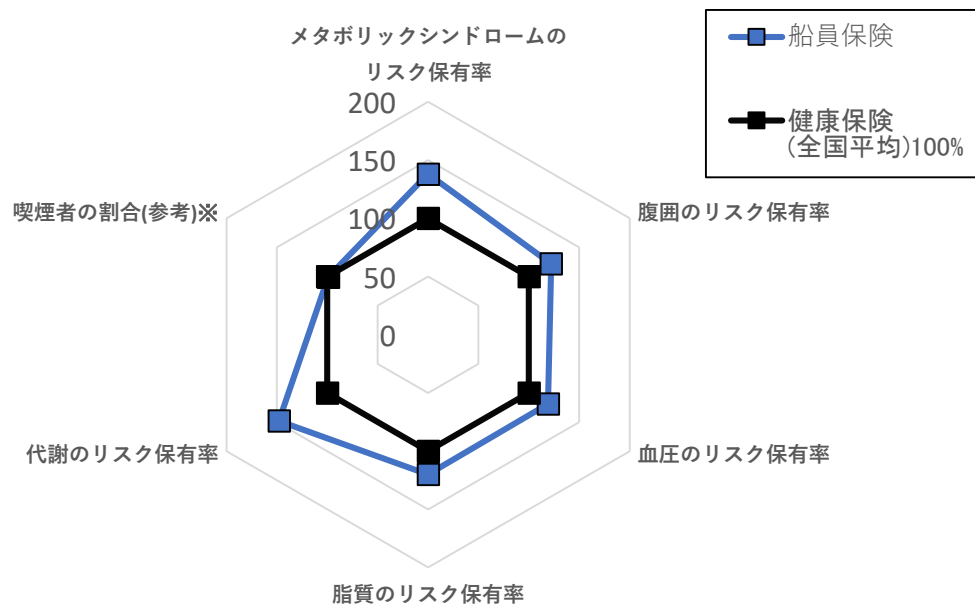
[出典：健康保険] 都道府県支部別健診データ2021(R3)年度
【集計対象者】：各年度在籍の被保険者(35歳～75歳)男性
【集計年度】：2021(R3)年度

- ①メタボリックリスク保有率は、③かつ④～⑥のうち2項目以上に該当する者の割合(分母は集計対象データ総数)
- ②メタボリックリスク予備群の割合は、③かつ④～⑥のうち1項目に該当する者の割合(分母は集計対象データ総数)
- ③腹囲のリスク保有率は、内臓脂肪面積が100cm²以上の者(ただし内臓脂肪面積の検査値がない場合は、腹囲が男性で85cm以上、女性で90cm以上の者)の割合
- ④血圧のリスク保有率は、収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、または高血圧に対する薬剤治療ありの者の割合
- ⑤脂質のリスク保有率は、中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、または脂質異常症に対する薬剤治療ありの者の割合
- ⑥代謝のリスク保有率は、空腹時血糖110mg/dl以上(ただし空腹時血糖の検査がない場合は、HbA1c 6.0%以上)、または糖尿病に対する薬剤治療ありの者の割合

※喫煙者の場合(参考)・・・問診表「喫煙」の回答が「はい」(船員手帳は除く)。協会けんぽは年齢調整前の数値

2021年度(R3)	船員保険	健康保険 (全国平均)	船員保険 (健康保険を100% とした場合)	健康保険 (全国平均) 100%
メタボリックシンドローム のリスク保有率	31.4	22.7	138	100
腹囲のリスク保有率	61.7	50.5	122	100
血圧のリスク保有率	61.0	51.2	119	100
脂質のリスク保有率	42.4	36.2	120	100
代謝のリスク保有率	29.2	19.7	148	100
喫煙者の割合(参考)※	39.5	40.0	99	100

図表 協会けんぽ加入者とのリスク保有率の比較(2021(R3)年度)



基本分析による現状の把握 ④ -2 ≪協会けんぽ加入者との各リスク保有率比較(汽船)≫

○協会けんぽ被保険者(男性)との各リスク保有率の比較を示しています。

○協会けんぽ被保険者(男性)と比較すると各リスク保有率が高い水準にあります。

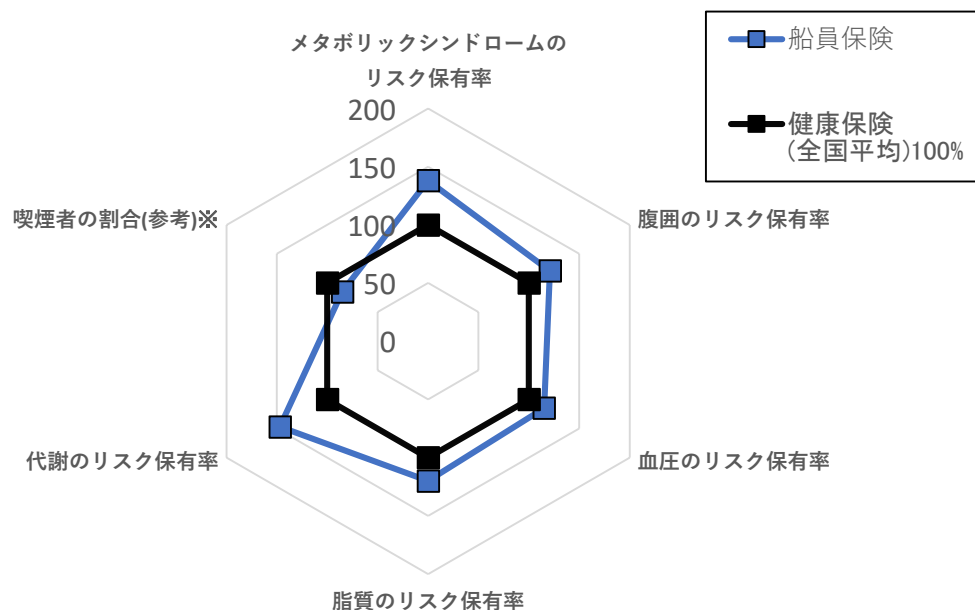
※船員保険の被保険者は約98%が男性であることから、協会けんぽ被保険者の男性と比較しています。

【出典：健康保険】都道府県支部別健診データ2021(R3)年度
【集計対象者】：各年度在籍の被保険者(35歳～75歳)男性
【集計年度】：2021(R3)年度

- ①メタボリックリスク保有率は、③かつ④～⑥のうち2項目以上に該当する者の割合(分母は集計対象データ総数)
 - ②メタボリックリスク予備群の割合は、③かつ④～⑥のうち1項目に該当する者の割合(分母は集計対象データ総数)
 - ③腹囲のリスク保有率は、内臓脂肪面積が100cm²以上の者(ただし内臓脂肪面積の検査値がない場合は、腹囲が男性で85cm以上、女性で90cm以上の者)の割合
 - ④血圧のリスク保有率は、収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、または高血圧に対する薬剤治療ありの者の割合
 - ⑤脂質のリスク保有率は、中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、または脂質異常症に対する薬剤治療ありの者の割合
 - ⑥代謝のリスク保有率は、空腹時血糖110mg/dl以上(ただし空腹時血糖の検査がない場合は、HbA1c 6.0%以上)、または糖尿病に対する薬剤治療ありの者の割合
- ※喫煙者の場合(参考)・・・問診表「喫煙」の回答が「はい」(船員手帳は除く)。協会けんぽは年齢調整前の数値

2021年度(R3)	船員保険 (汽船)	健康保険 (全国平均)	船員保険 (健康保険を100% とした場合)	健康保険 (全国平均) 100%
メタボリックシンドローム のリスク保有率	31.3	22.7	138	100
腹囲のリスク保有率	61.2	50.5	121	100
血圧のリスク保有率	59.1	51.2	115	100
脂質のリスク保有率	43.4	36.2	120	100
代謝のリスク保有率	29.0	19.7	147	100
喫煙者の割合(参考)※	34.1	40.0	85	100

図表 協会けんぽ加入者とのリスク保有率の比較(2021(R3)年度)



基本分析による現状の把握 ④ -3 ≪協会けんぽ加入者との各リスク保有率比較(漁船)≫

○協会けんぽ被保険者(男性)との各リスク保有率の比較を示しています。

○協会けんぽ被保険者(男性)と比較すると各リスク保有率が高い水準にあります。

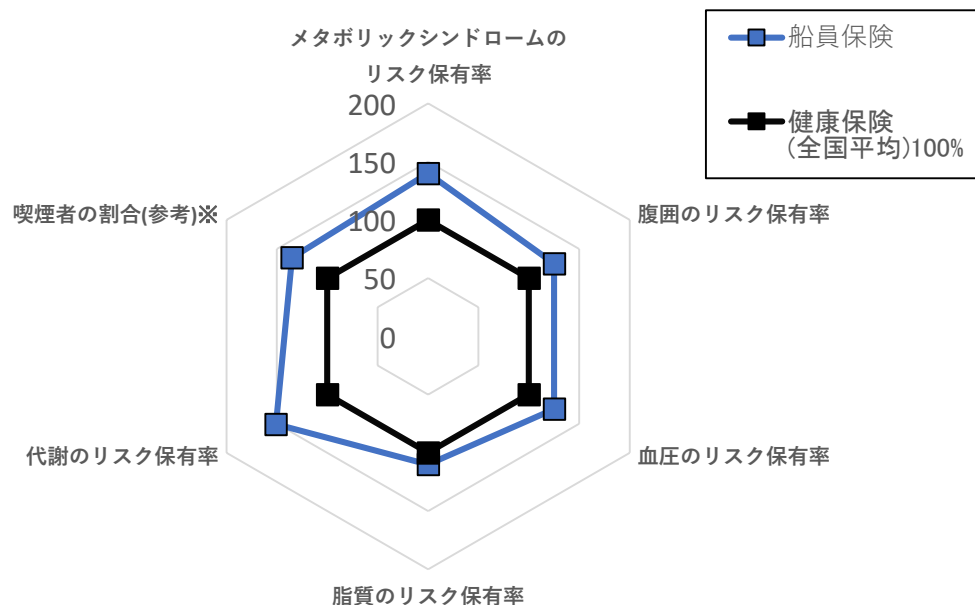
※船員保険の被保険者は約98%が男性であることから、協会けんぽ被保険者の男性と比較しています。

2021年度(R3)	船員保険 (漁船)	健康保険 (全国平均)	船員保険 (健康保険を100% とした場合)	健康保険 (全国平均) 100%
メタボリックシンドローム のリスク保有率	31.7	22.7	140	100
腹囲のリスク保有率	62.9	50.5	125	100
血圧のリスク保有率	64.0	51.2	125	100
脂質のリスク保有率	39.8	36.2	110	100
代謝のリスク保有率	29.8	19.7	151	100
喫煙者の割合(参考)※	53.8	40.0	135	100

【出典：健康保険】都道府県支部別健診データ2021(R3)年度
【集計対象者】：各年度在籍の被保険者(35歳～75歳)男性
【集計年度】：2021(R3)年度

- ①メタボリックリスク保有率は、③かつ④～⑥のうち2項目以上に該当する者の割合(分母は集計対象データ総数)
 - ②メタボリックリスク予備群の割合は、③かつ④～⑥のうち1項目に該当する者の割合(分母は集計対象データ総数)
 - ③腹囲のリスク保有率は、内臓脂肪面積が100cm²以上の者(ただし内臓脂肪面積の検査値がない場合は、腹囲が男性で85cm以上、女性で90cm以上の者)の割合
 - ④血圧のリスク保有率は、収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、または高血圧に対する薬剤治療ありの者の割合
 - ⑤脂質のリスク保有率は、中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、または脂質異常症に対する薬剤治療ありの者の割合
 - ⑥代謝のリスク保有率は、空腹時血糖110mg/dl以上(ただし空腹時血糖の検査がない場合は、HbA1c 6.0%以上)、または糖尿病に対する薬剤治療ありの者の割合
- ※喫煙者の場合(参考)・・・問診表「喫煙」の回答が「はい」(船員手帳は除く)。協会けんぽは年齢調整前の数値

図表 協会けんぽ加入者とのリスク保有率の比較(2021(R3)年度)



基本分析による現状の把握 ④ -4 ≪各リスク保有率の経年変化≫

船員保険(全体)	2018(H30)年度	2019(R1)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度
メタボリックシンドロームのリスク保有率	30.1	30.8	32.3	31.4	31.7
腹囲のリスク保有率	60.3	61.4	62.4	61.7	61.6
血圧のリスク保有率	57.9	58.4	60.9	61.0	60.7
脂質のリスク保有率	41.2	41.4	42.8	42.4	43.3
代謝のリスク保有率	29.1	29.7	28.6	29.2	29.2
喫煙者の割合(参考)※	40.5	40.3	39.8	39.5	39.4

船員保険(汽船)	2018(H30)年度	2019(R1)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度
メタボリックシンドロームのリスク保有率	29.8	30.5	32.0	31.3	31.4
腹囲のリスク保有率	59.6	60.6	61.7	61.2	60.7
血圧のリスク保有率	57.1	57.4	59.7	59.1	59.3
脂質のリスク保有率	42.0	42.4	43.9	43.4	44.3
代謝のリスク保有率	29.0	30.1	28.8	29.0	29.1
喫煙者の割合(参考)※	34.8	34.5	34.4	34.1	33.9

船員保険(漁船)	2018(H30)年度	2019(R1)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度
メタボリックシンドロームのリスク保有率	30.9	31.4	33.0	31.7	32.4
腹囲のリスク保有率	62.2	63.4	64.1	62.9	64.0
血圧のリスク保有率	60.0	61.0	64.2	64.0	64.4
脂質のリスク保有率	39.0	38.8	40.0	39.8	40.7
代謝のリスク保有率	29.3	28.8	28.0	29.8	29.4
喫煙者の割合(参考)※	54.9	55.0	54.0	53.8	53.8

基本分析による現状の把握 ⑤ ≪肥満・非肥満者の経年変化、年齢階層別肥満者割合≫

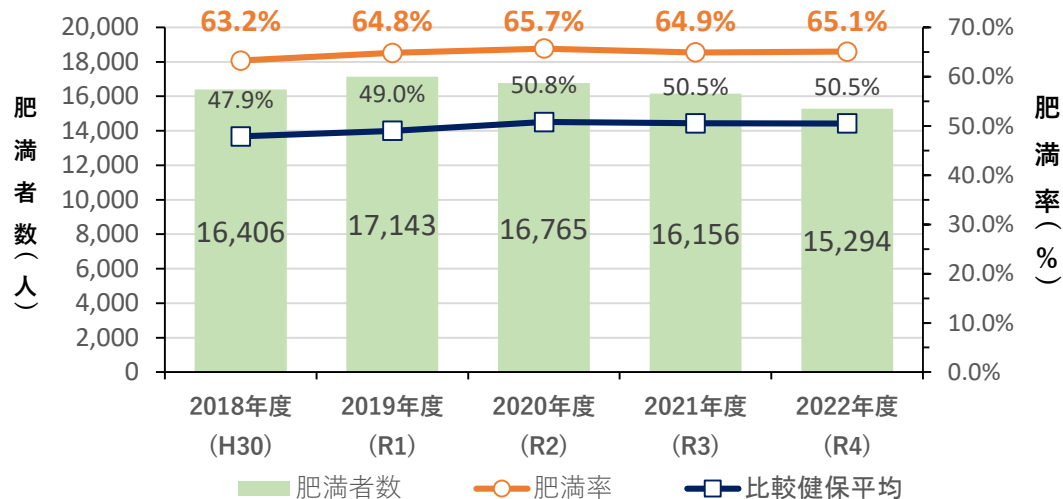
○肥満者の割合の推移を示しています。

○被保険者男性においては、2019(R1)年度をピークに肥満者数は減少傾向にあります。

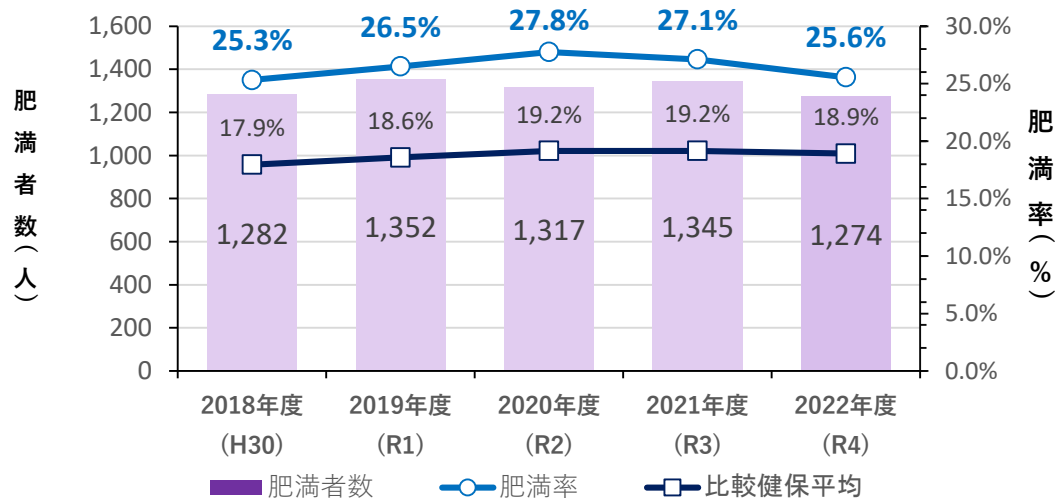
○被保険者男性及び被扶養者女性ともに、肥満者の割合が比較健保平均よりかなり高くなっています。

図表 肥満者割合の推移(2018(H30)年度～2022(R4)年度)

【被保険者男性】



【被扶養者女性】



【集計対象者】：各年度在籍の35歳以上の被保険者および40歳以上の被扶養者かつ健診受診者

【集計年度】：2018(H30)～2022(R4)年度

【比較母集団】：294健保組合の中の35歳以上の被保険者男性で健診を受診した210万人と40歳以上の被扶養者女性で健診を受診した45万人

※被保険者には「男性」、被扶養者に「女性」を適用して比較

※肥満者数・・・

【男性】腹囲が85cm以上またはBMIが25以上である者の人数

【女性】腹囲が90cm以上またはBMIが25以上である者の人数

※肥満率・・・肥満者数÷健診受診者数

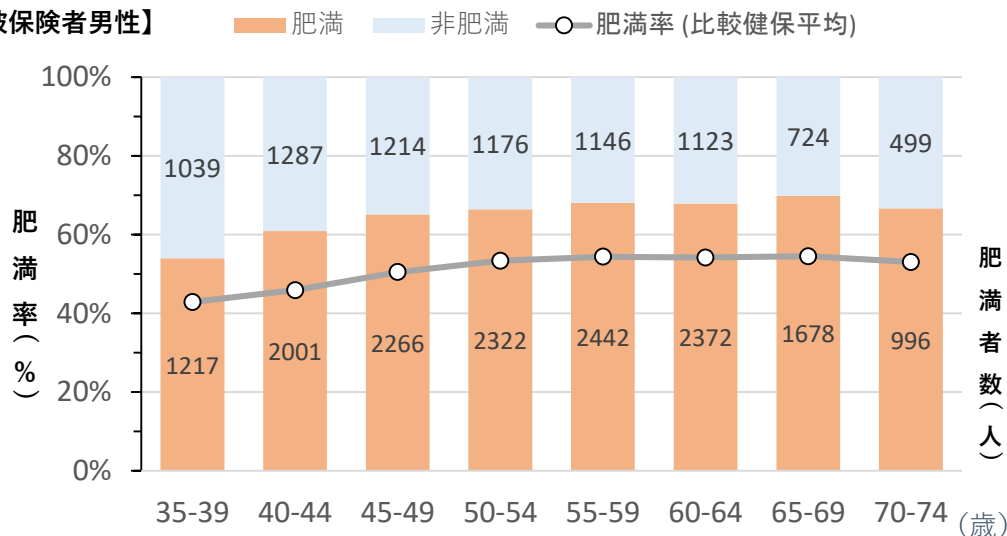
基本分析による現状の把握 ⑤ ≪肥満・非肥満者の経年変化、年齢階層別肥満者割合≫

○年齢階層別の肥満者割合を示しています。

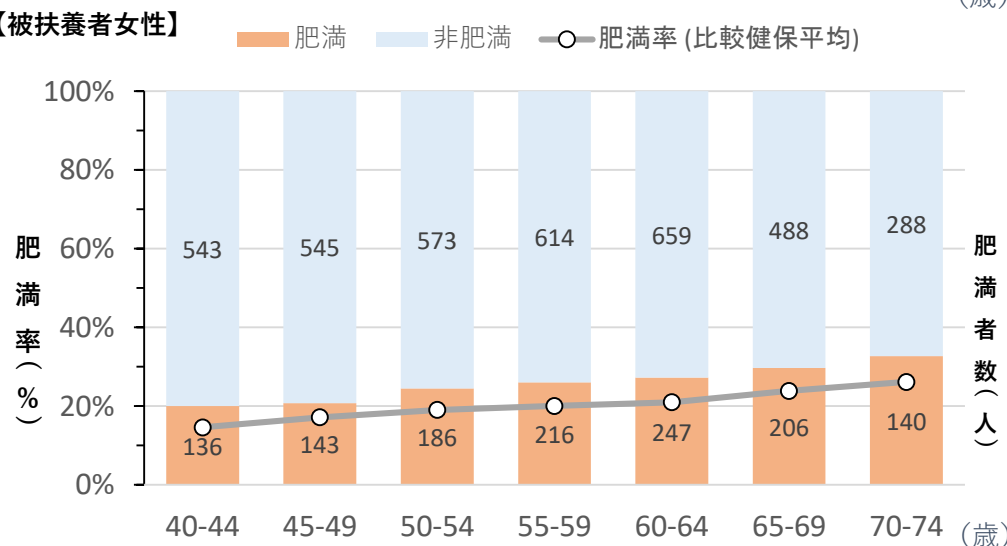
○被保険者男性及び被扶養者女性ともに、肥満者の割合が比較健保平均より各年齢層で高くなっています。

図表 年齢階層別肥満者割合 (2022(R4)年度)

【被保険者男性】



【被扶養者女性】



【集計対象者】：各年度在籍の35歳以上の被保険者および40歳以上の被扶養者かつ健診受診者

【集計年度】：2022(R4)年度

【比較母集団】：294健保組合の中の35歳以上の被保険者男性で健診を受診した210万人と40歳以上の被扶養者女性で健診を受診した45万人

※被保険者には「男性」、被扶養者に「女性」を適用して比較

※肥満者数・・・

【男性】腹囲が85cm以上またはBMIが25以上である者の人数

【女性】腹囲が90cm以上またはBMIが25以上である者の人数

※肥満率・・・肥満者数÷健診受診者数

基本分析による現状の把握 ⑥ ≪生活習慣の経年変化(喫煙)≫

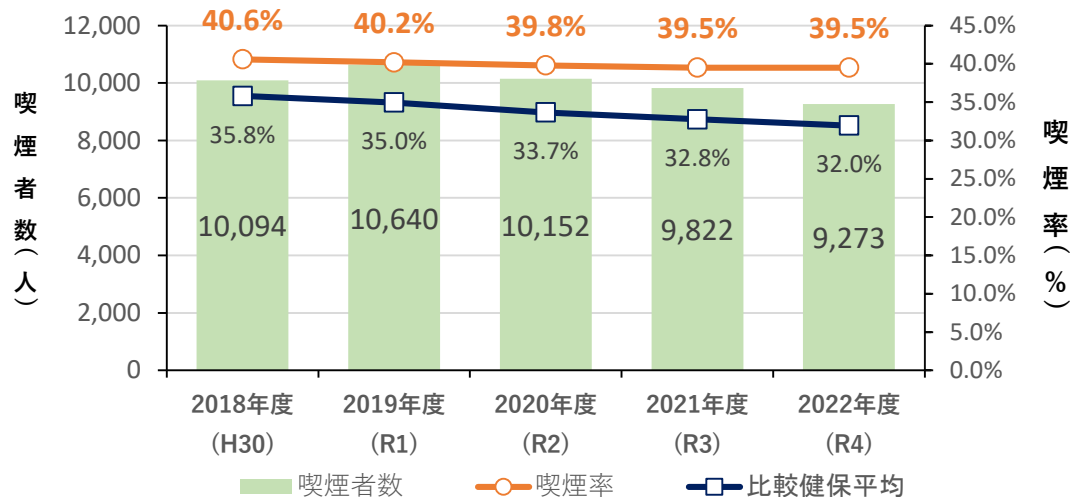
○喫煙率の推移を示しています。

○被保険者男性及び被扶養者女性ともに、喫煙者の割合が比較健保平均より高くなっています。

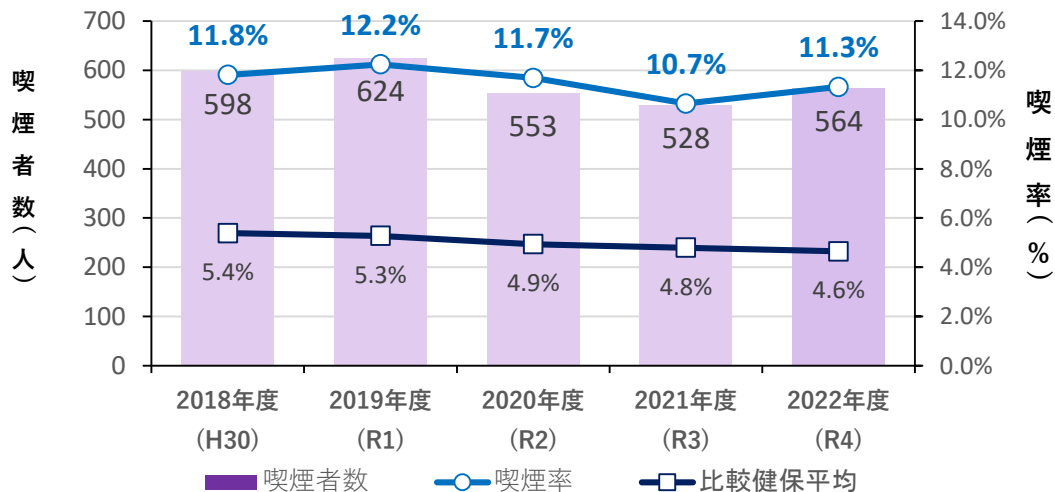
○また、比較健保平均では喫煙率が年々減少していますが、被保険者男性及び被扶養者女性ともに喫煙率は横ばいです。

図表 喫煙率の推移(2018(H30)年度～2022(R4)年度)

【被保険者男性】



【被扶養者女性】



【集計対象者】：各年度在籍の35歳以上の被保険者および40歳以上の被扶養者かつ健診受診者

【集計年度】：2018(H30)～2022(R4)年度

【比較母集団】：294健保組合の中の35歳以上の被保険者男性で問診を回答した205万人と40歳以上の被扶養者女性で問診を回答した45万人

※被保険者には「男性」、被扶養者に「女性」を適用して比較

※喫煙者数・・・問診票「喫煙」の回答が「はい」である者の人数

※喫煙率・・・喫煙者数÷問診回答者数

基本分析による現状の把握 ⑥ ≪生活習慣の経年変化(喫煙)≫

○年齢階層別の喫煙者数の状況を示しています。

○被保険者男性及び被扶養者女性ともに、喫煙者の割合が比較健保平均より各年齢層で高くなっています。

【集計対象者】：各年度在籍の35歳以上の被保険者および40歳以上の被扶養者かつ健診受診者

【集計年度】：2022(R4)年度

【比較母集団】：294健保組合の中の35歳以上の被保険者男性で問診を回答した205万人と40歳以上の被扶養者女性で問診を回答した45万人

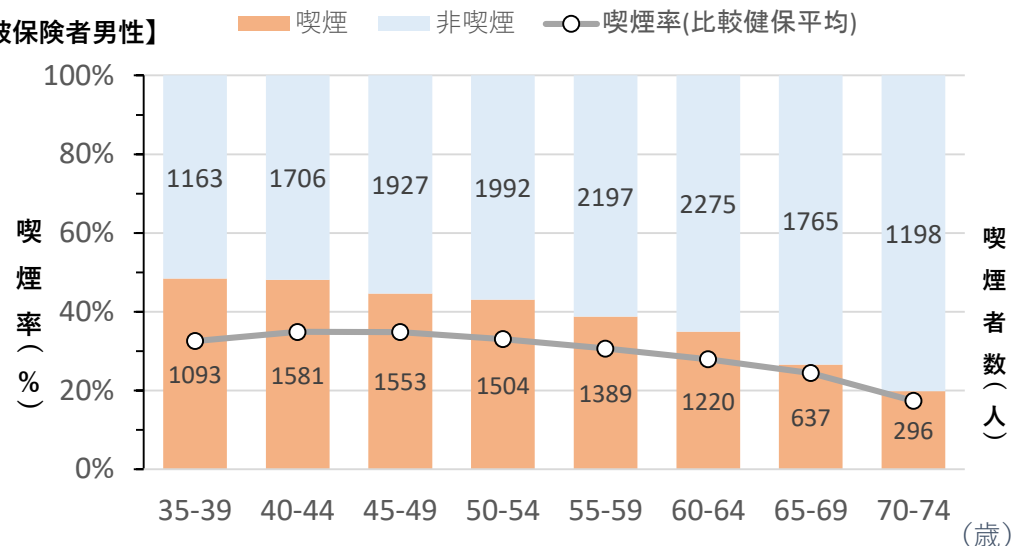
※被保険者には「男性」、被扶養者に「女性」を適用して比較

※喫煙者数・・・問診票「喫煙」の回答が「はい」である者の人数

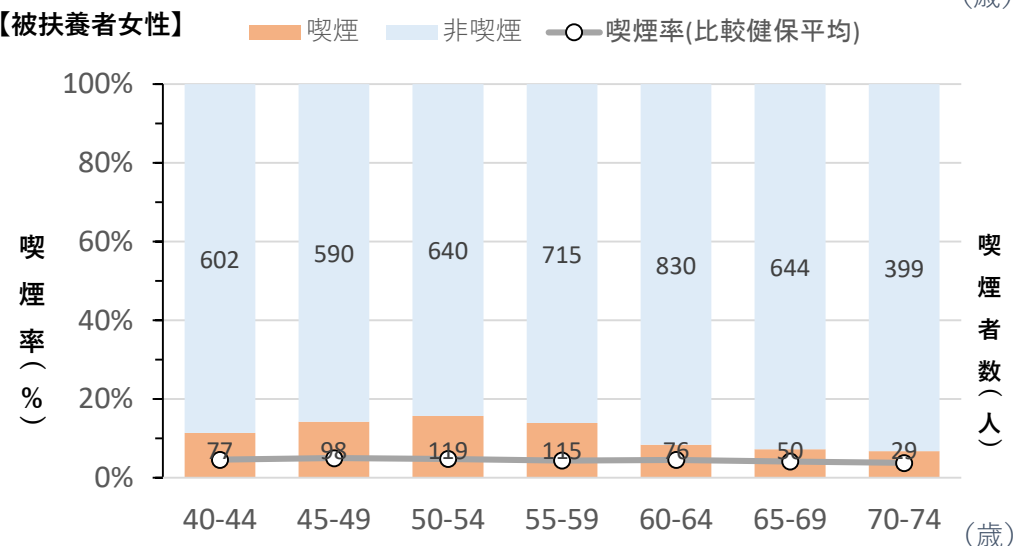
※喫煙率・・・喫煙者数÷問診回答者数

図表 年齢階層別喫煙者割合 (2022(R4)年度)

【被保険者男性】



【被扶養者女性】



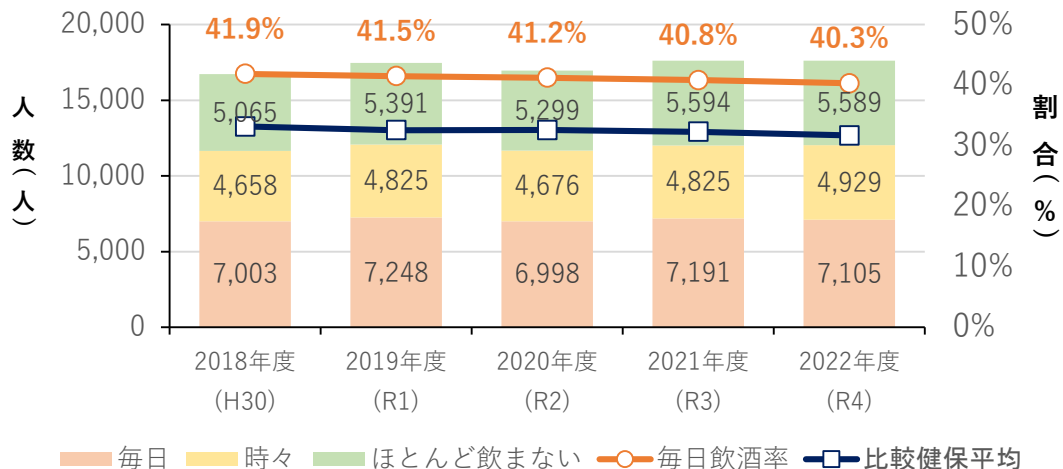
基本分析による現状の把握 ⑦ ≪生活習慣の経年変化(飲酒)≫

○問診票の飲酒頻度別の人数と問診票の飲酒頻度が毎日と回答した方の割合(毎日飲酒率)の状況を示しています。

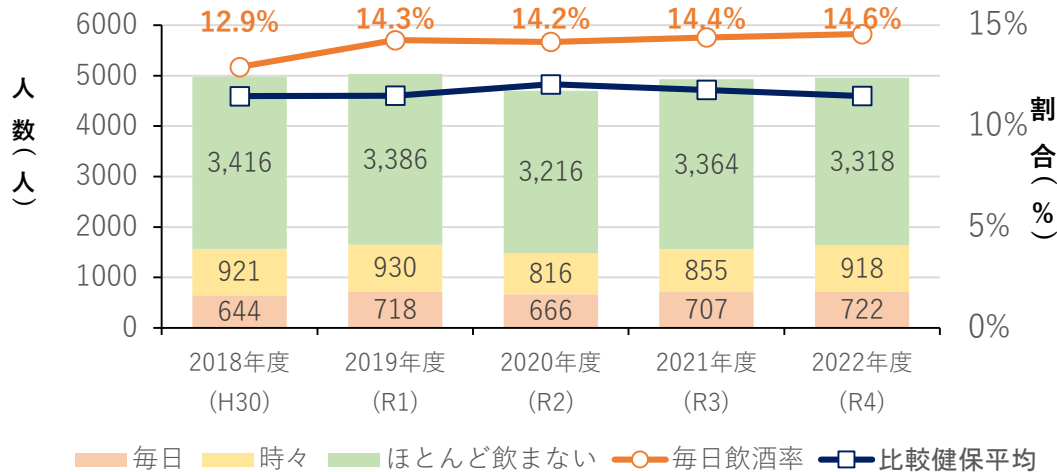
○被保険者男性及び被扶養者女性ともに、毎日飲酒している者の割合は、比較健保平均より高くなっています。

図表 飲酒頻度の推移(2018(H30)年度～2022(R4)年度)

【被保険者男性】



【被扶養者女性】



【集計対象者】：各年度在籍の35歳以上の被保険者および40歳以上の被扶養者かつ健診受診者

【集計年度】：2018(H30)～2022(R4)年度

【比較母集団】：294健保組合の中の35歳以上の被保険者男性で問診を回答した195万人と40歳以上の被扶養者女性で問診を回答した45万人

※被保険者には「男性」、被扶養者に「女性」を適用して比較
※多量飲酒者数・・・

問診票「飲酒」の回答が「毎日」である者の人数

※割合・・・人数÷問診回答者数

基本分析による現状の把握 ⑦ ≪生活習慣の経年変化(飲酒)≫

○問診票の飲酒頻度別の人数と問診票の飲酒頻度が毎日と回答した方の割合(毎日飲酒率)の年齢階層別の状況を示しています。

○特に35～64歳層の被保険者男性と40～54歳層の被扶養者女性で、毎日飲酒している者の割合が比較健保平均より高くなっています。

○喫煙と同じく、病気など体調が悪くなると飲酒をしなくなる傾向がありますので、65歳以降は、体調の変化で毎日飲酒をしなくなった方が多いとも言えます。

【集計対象者】：各年度在籍の35歳以上の被保険者および40歳以上の被扶養者かつ健診受診者

【集計年度】：2022(R4)年度

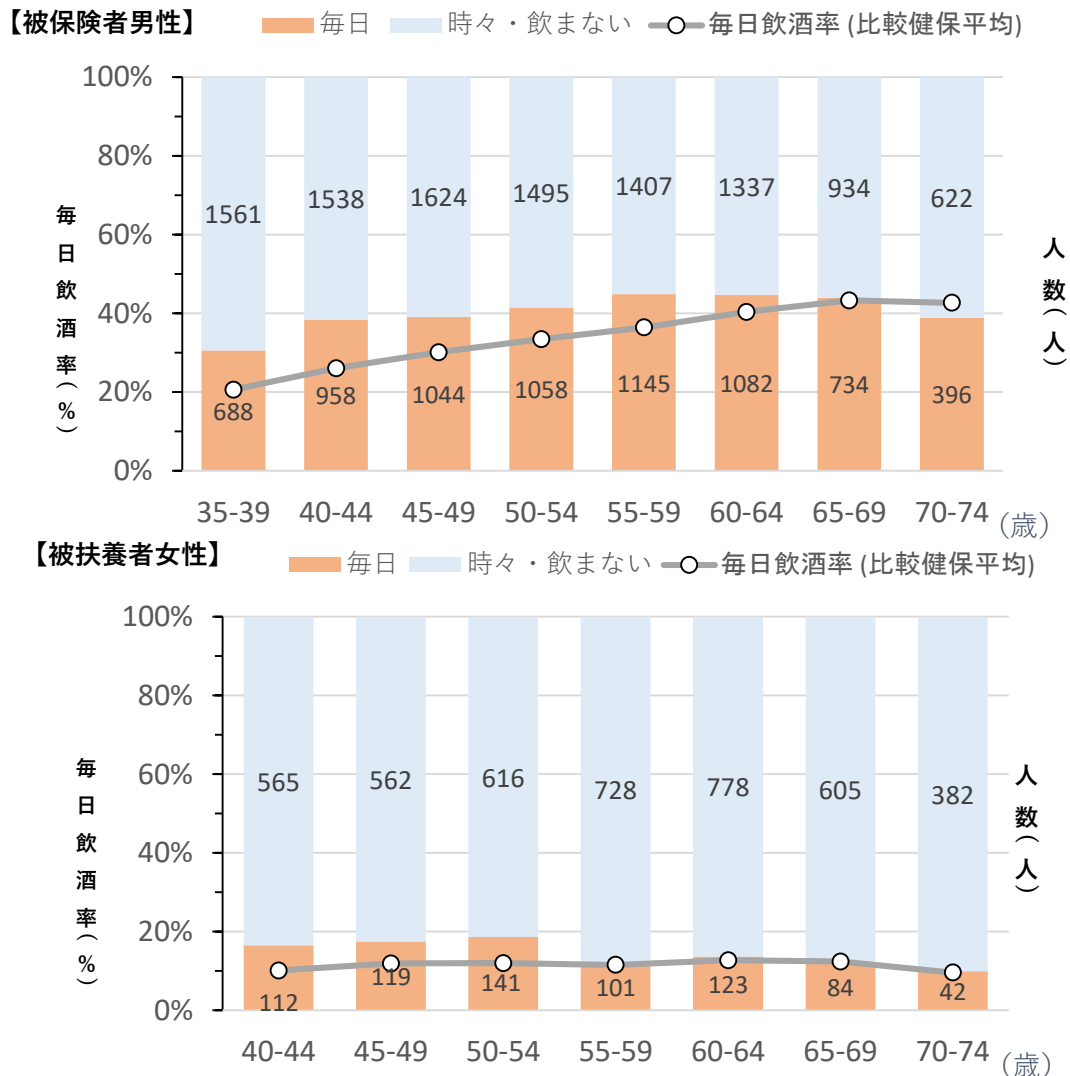
【比較母集団】：294健保組合の中の35歳以上の被保険者男性で問診を回答した195万人と40歳以上の被扶養者女性で問診を回答した45万人

※被保険者には「男性」、被扶養者に「女性」を適用して比較
※多量飲酒者数・・・

問診票「飲酒」の回答が「毎日」である者の人数

※割合・・・人数÷問診回答者数

図表 年齢階層別飲酒者割合 (2022(R4)年度)



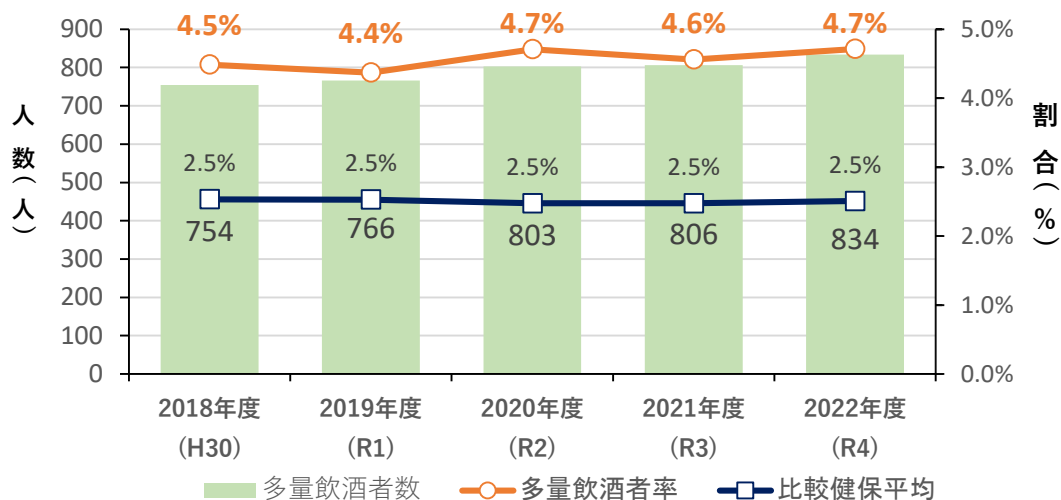
基本分析による現状の把握 ⑦ ≪生活習慣の経年変化(飲酒)≫

○問診票の飲酒頻度が毎日かつ、1日あたりの飲酒量が3合以上と回答した方の人数と割合を示しています。

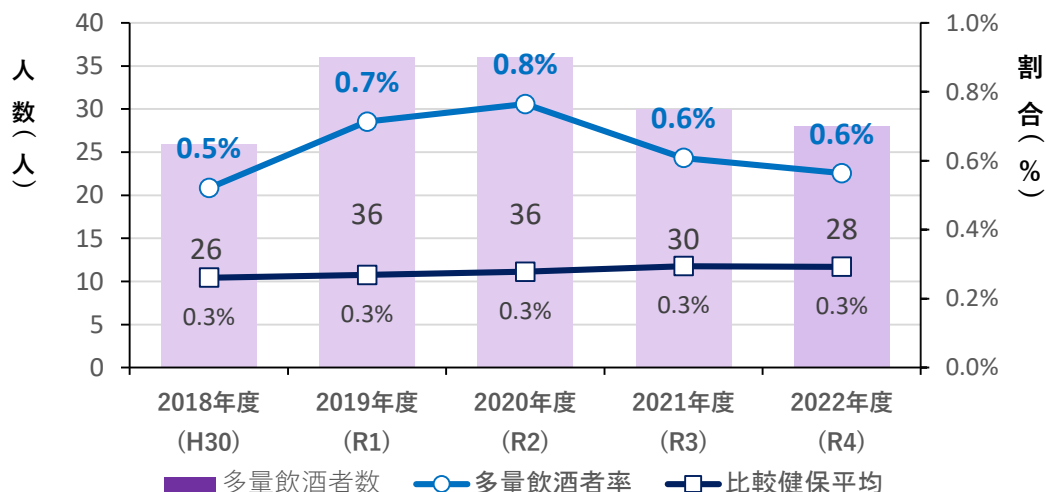
○被保険者男性及び被扶養者女性ともに、多量飲酒者(毎日3合以上飲酒)の割合が比較健保平均より高くなっています。

図表 多量飲酒者割合の推移(2018(H30)年度～2022(R4)年度)

【被保険者男性】



【被扶養者女性】



【集計対象者】: 各年度在籍の35歳以上の被保険者および40歳以上の被扶養者かつ健診受診者

【集計年度】: 2018(H30)～2022(R4)年度

【比較母集団】: 294健保組合の中の35歳以上の被保険者男性で問診を回答した195万人と40歳以上の被扶養者女性で問診を回答した45万人

※被保険者には「男性」、被扶養者に「女性」を適用して比較
※多量飲酒者数・・・

問診票「飲酒」の回答が「毎日」かつ「3合以上」である者の人数

※割合・・・人数÷問診回答者数

基本分析による現状の把握 ⑧ ≪生活習慣の経年変化（運動習慣）≫

○問診票の運動実施が「いいえ」かつ、歩行身体活動の実施が「いいえ」と回答した方の人数と割合を示しています。

○「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施」、「歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施」というハードルの高い問いの問題もあって運動習慣が無い方の割合が高くなっていますが、比較健保平均と同様に年々、運動・身体活動の実施は増えています。

【集計対象者】：各年度在籍の35歳以上の被保険者および40歳以上の被扶養者かつ健診受診者

【集計年度】：2018(H30)～2022(R4)年度

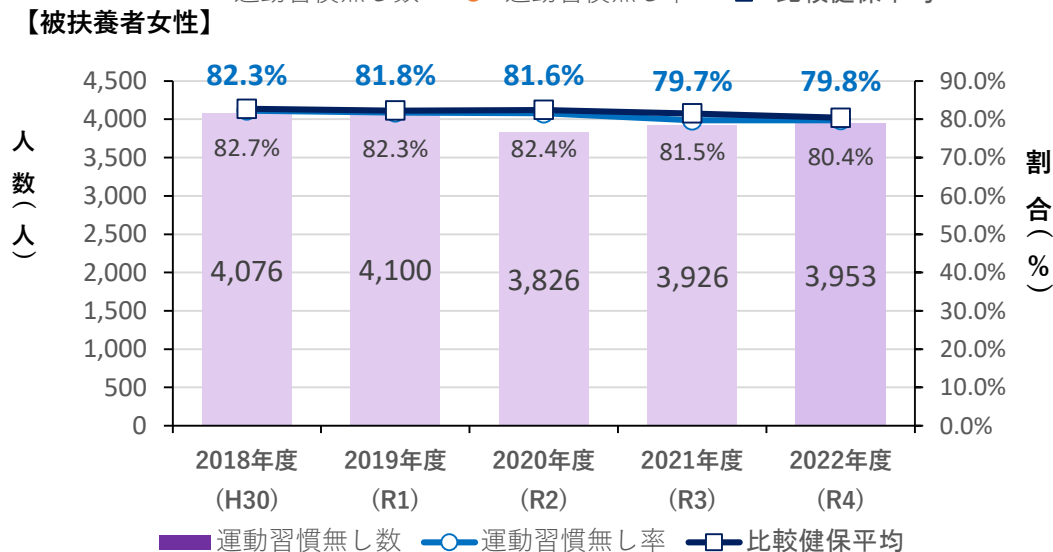
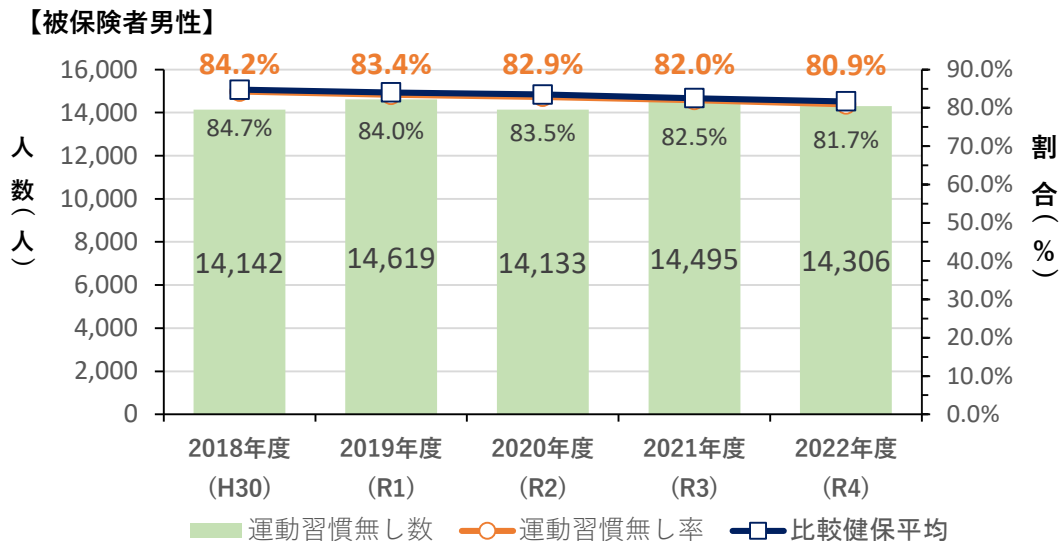
【比較母集団】：294健保組合の中の35歳以上の被保険者男性で問診を回答した195万人と40歳以上の被扶養者女性で問診を回答した45万人

※被保険者には「男性」、被扶養者に「女性」を適用して比較

※運動習慣無し数・・・問診票で「運動習慣」と「歩行身体活動」の回答が「いいえ」である者の人数

※割合・・・人数÷問診回答者数

図表 運動習慣がない者の割合推移(2018(H30)年度～2022(R4)年度)



基本分析による現状の把握 ⑧ ≪生活習慣の経年変化（運動習慣）≫

○問診票の運動実施が「いいえ」かつ、歩行身体活動の実施が「いいえ」と回答した方の年齢階層別の人数と割合を示しています。

○時間的余裕、健康不安からか通常、年齢とともに運動習慣があると回答する割合が高くなります。

【集計対象者】：各年度在籍の35歳以上の被保険者および40歳以上の被扶養者かつ健診受診者

【集計年度】：2022(R4)年度

【比較母集団】：294健保組合の中の35歳以上の被保険者男性で問診を回答した195万人と40歳以上の被扶養者女性で問診を回答した45万人

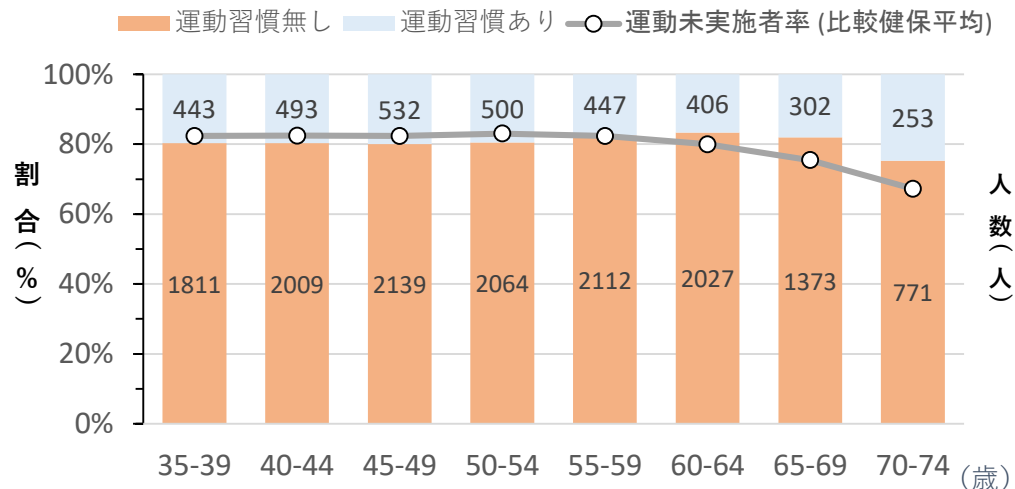
※被保険者には「男性」、被扶養者に「女性」を適用して比較

※運動習慣無し数・・・問診票で「運動習慣」と「歩行身体活動」の回答が「いいえ」である者の人数

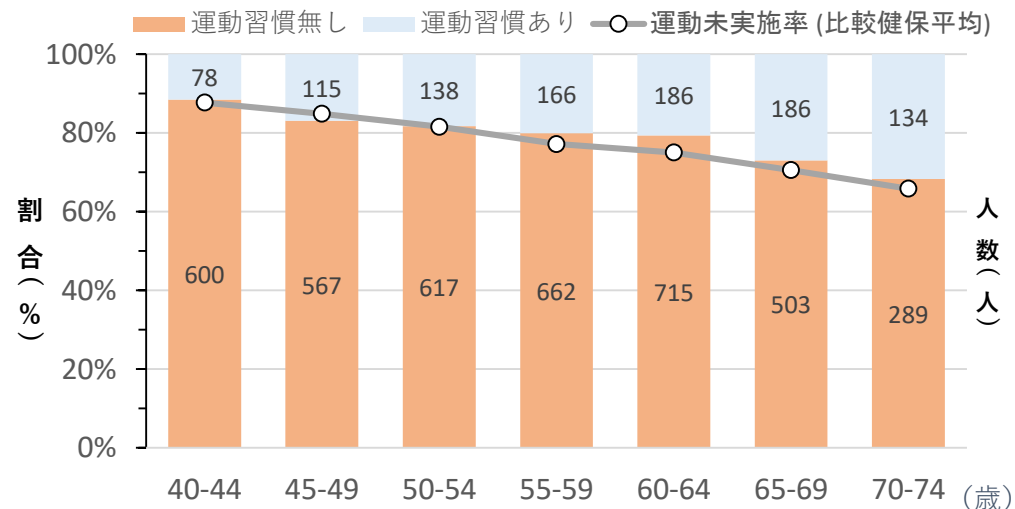
※割合・・・人数÷問診回答者数

図表 年齢階層別運動習慣がない者の割合（2022(R4)年度）

【被保険者男性】



【被扶養者女性】



基本分析による現状の把握 ⑨ ≪精神疾患の有病者≫

○精神疾患の有病者数の推移を示しています。精神疾患はうつ病を含む「気分(感情)障害」及び統合失調症を含む「神経症性障害」のそれぞれで集計しています。なお、集計対象は被保険者としています。

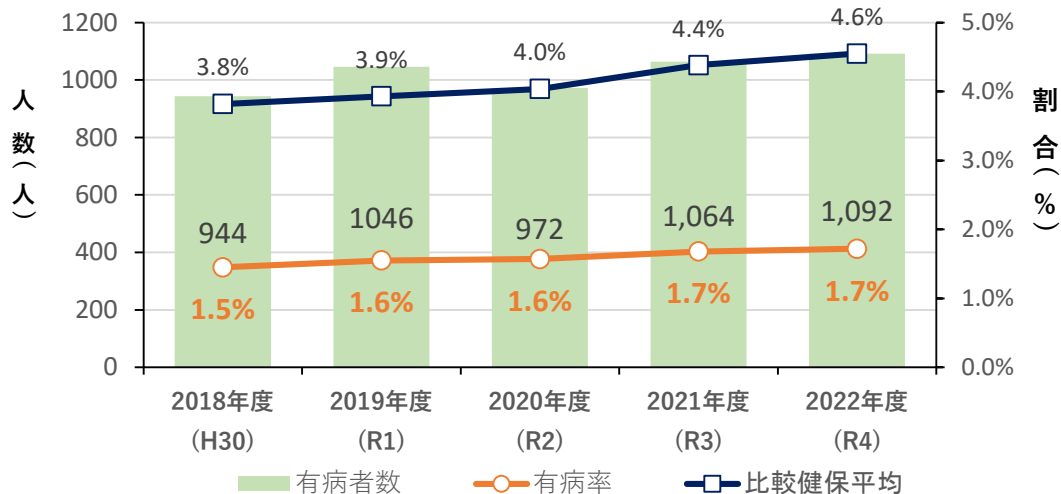
○気分(感情)障害[うつ等含む]、神経症性障害[統合失調症等含む]ともに比較健保平均よりは低くなっています。

【集計対象者】：各年度在籍の被保険者
 【集計年度】：2020(R2)～2022(R4)年度
 【集計レセプト】：医科外来・医科入院レセプト
 ※職務外のレセプトであること
 (職務上の事由コードがあるレセプトデータを含めない)
 ※気分(感情)障害・・・ICD10コード前方3桁が「F30-F39」
 ※神経症性障害・・・ICD10コード前方3桁が「F40-F48」
 ※有病者数・・・
 傷病別医療費分配処理実施後のレセプトにおいて、
 精神疾患に該当するレセプトが発生している者の人数
 (代表疾病以外含む、疑い疾患含む)
 ※有病率・有病者数÷各年度で1日でも資格を有していた者の人数
 【比較母集団】：294健保組合の約1,000万人データの平均値

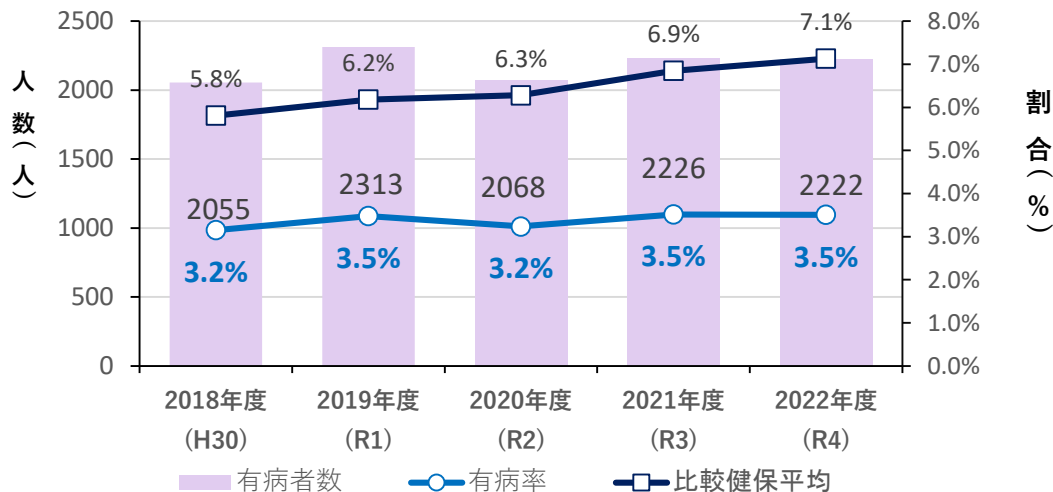
図表 精神疾患有病者数の推移(2020(R2)年度～2022(R4)年度)

【被保険者】

【気分(感情)障害 [うつ等含む]】



【神経症性障害 [統合失調症等含む]】



基本分析による現状の把握 ⑨ ≪精神疾患の有病者≫

○精神疾患の年齢階層別有病率を示しています。精神疾患はうつ病を含む「気分(感情)障害」及び統合失調症を含む「神経症性障害」のそれぞれで集計しています。なお、集計対象は被保険者としています。

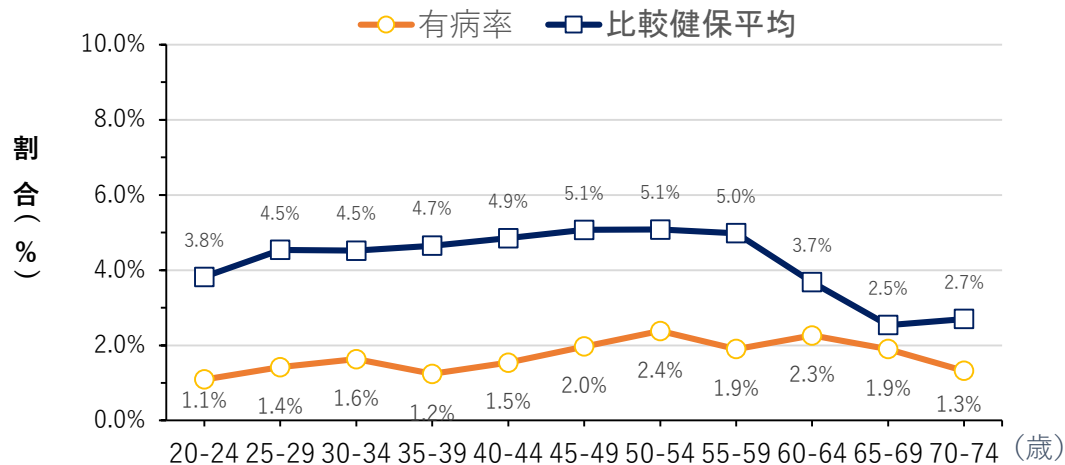
○気分(感情)障害[うつ等含む]、神経症性障害[統合失調症等含む]ともに各年齢層で比較健保平均よりは低くなっています。

【集計対象者】：各年度在籍の被保険者
 【集計年度】：2022(R4)年度
 【集計レセプト】：医科外来・医科入院レセプト
 ※職務外のレセプトであること
 (職務上の事由コードがあるレセプトデータを含めない)
 ※気分(感情)障害・・・ICD10コード前方3桁が「F30-F39」
 ※神経症性障害・・・ICD10コード前方3桁が「F40-F48」
 ※有病者数・・・
 傷病別医療費分配処理実施後のレセプトにおいて、
 精神疾患に該当するレセプトが発生している者の人数
 (代表疾病以外含む、疑い疾患含む)
 ※有病率・有病者数÷各年度で1日でも資格を有していた者の人数

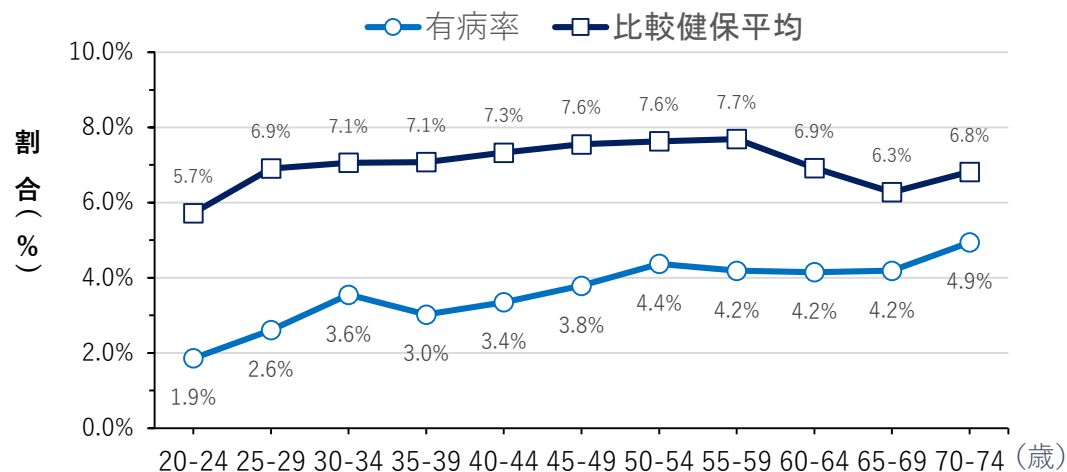
図表 精神疾患の年齢階層別有病者数(2022(R4)年度)

【被保険者】

【気分(感情)障害 [うつ等含む]】



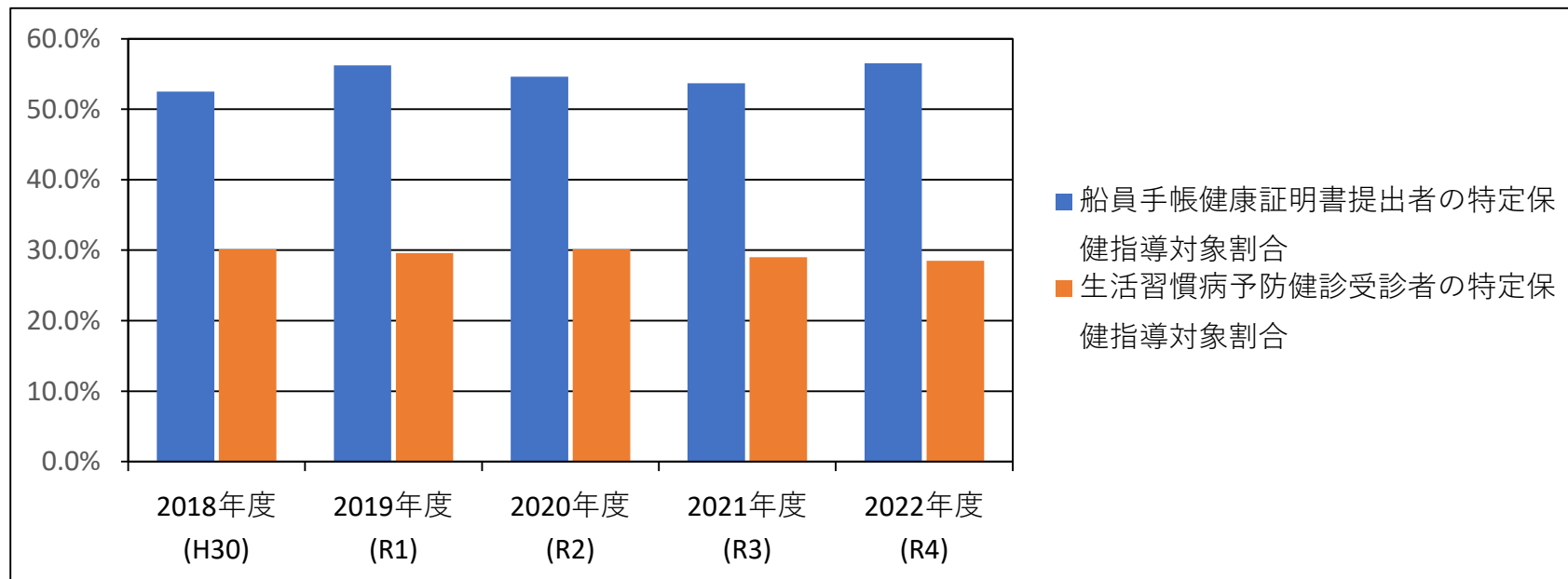
【神経症性障害 [統合失調症等含む]】



基本分析による現状の把握 ⑩

≪ 特定保健指導対象者割合（船員手帳健康証明書提出者・生活習慣病予防健診受診者） ≫

図表 特定保健指導対象者割合(2020(R2)年度～2022(R4)年度)



【船員手帳健康証明書提出者】

	2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)
特定保健指導対象者数(人)	4,799	5,168	4,809	4,039	3,441
船員手帳健康証明書提出者(人)	9,138	9,203	8,807	7,516	6,085
船員手帳健康証明書提出者の特定保健指導対象割合(%)	52.5%	56.2%	54.6%	53.7%	56.5%

【生活習慣病予防健診受診者】

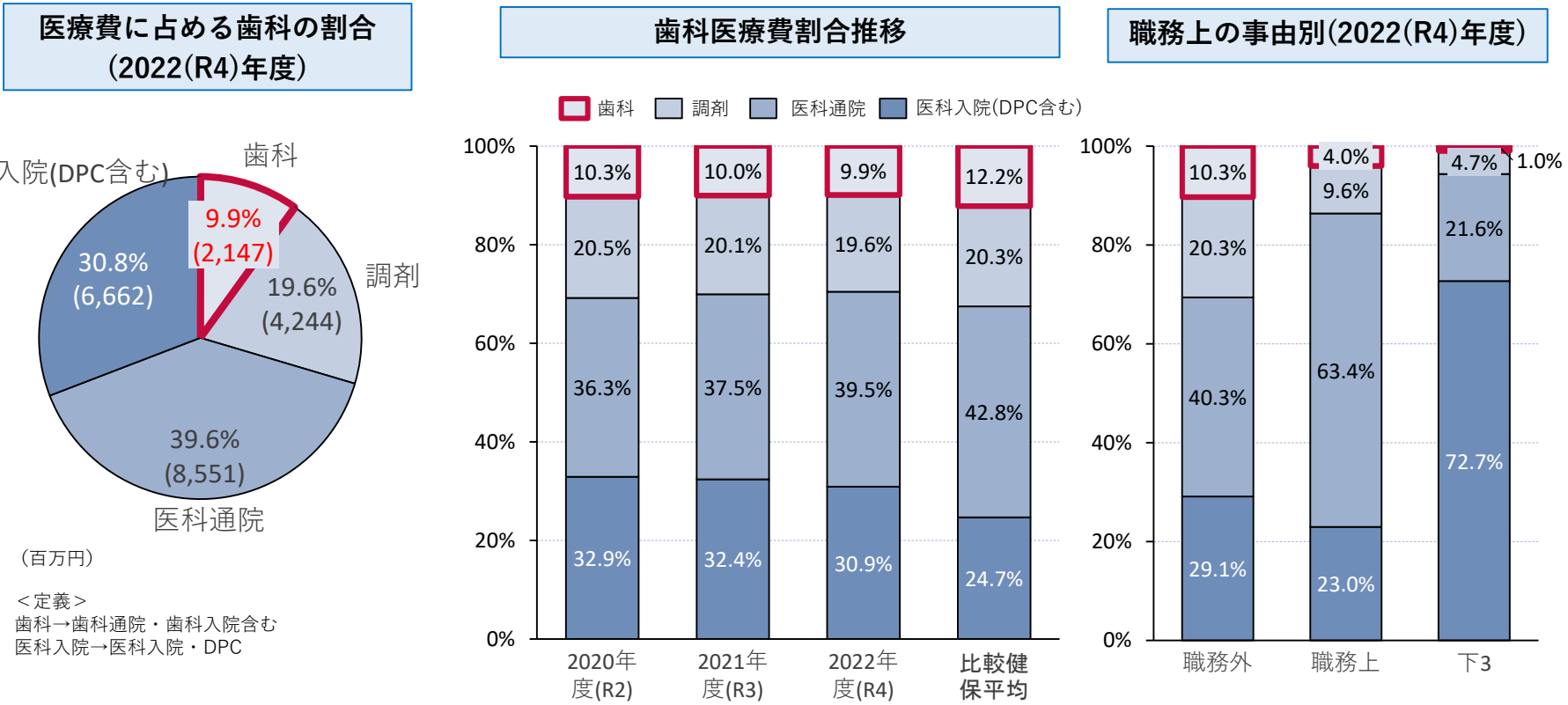
	2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)
特定保健指導対象者数(人)	4,509	4,638	4,549	4,570	4,500
生活習慣病予防健診対象者(人)	14,998	15,654	15,133	15,743	15,812
生活習慣病予防健診受診者の特定保健指導対象割合(%)	30.1%	29.6%	30.1%	29.0%	28.5%

○ 船員手帳健康証明書提出者と生活習慣病予防健診受診者の特定保健指導対象者の割合を示しています。

○ 船員手帳健康証明書提出者の特定保健指導対象者割合は、生活習慣病予防健診受診者と比較すると約5割と高い水準にあります。

基本分析による現状の把握⑪ ≪ 歯科医療費 ≫

図表 医療費に占める歯科の割合(2020(R2)年度～2022(R4)年度)

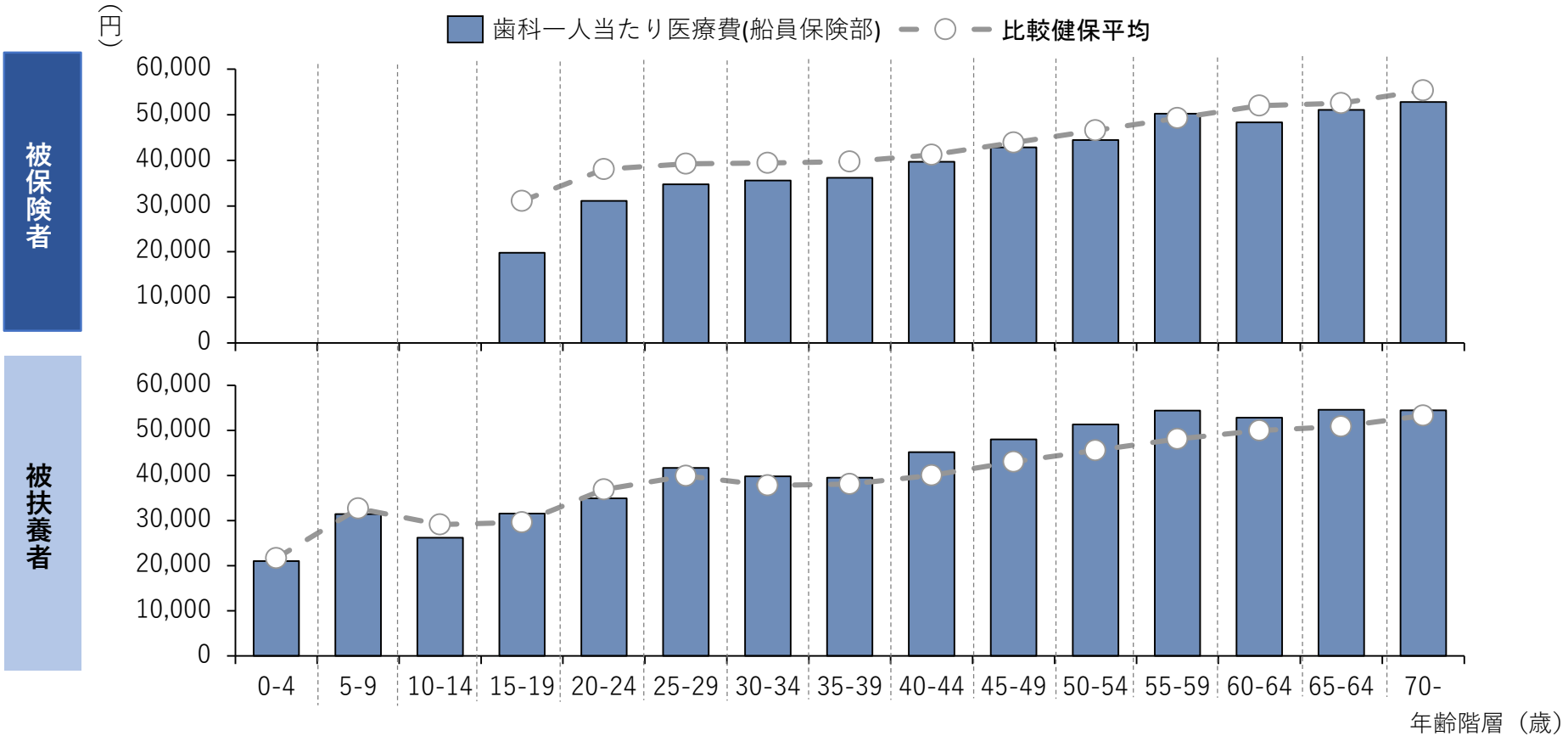


○ 歯科医療費は医療費全体の中の10%程度で推移しています。
 ○ 比較健保平均との違いは、医科入院・医科通院の医療費が高いことから、歯科の全体医療費に占める割合が低くなっていると考えられます。

【集計対象者】：各年度在籍の加入者全て
 【集計年度】：2020(R2)～2022(R4)年度
 【集計レセプト】：全レセプト
 【比較母集団】：294健保組合の約1,000万人データの平均値

基本分析による現状の把握 ⑪ 《 歯科医療費 》

図表 歯科の年齢層別一人当たり医療費(2022(R4)年度)



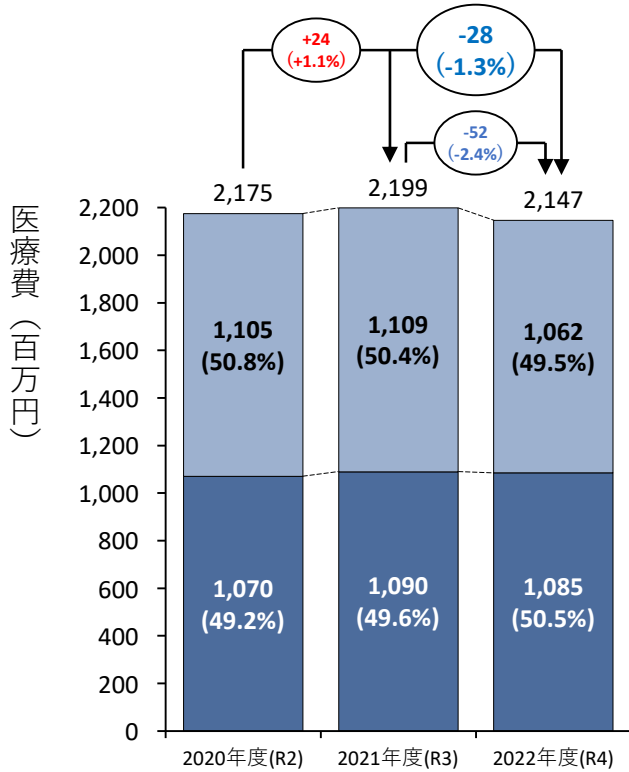
○被保険者の各年齢層で患者当たりの一人当たり医療費が比較健保平均よりも低くなっています。

【集計対象者】：各年度在籍の加入者
 【集計年度】：2022(R4)年度
 【集計レセプト】：歯科レセプト
 ※対象期間における患者あたりの平均医療費
 (医療費/実患者数)
 【比較母集団】：294健保組合の約1,000万人データの平均値

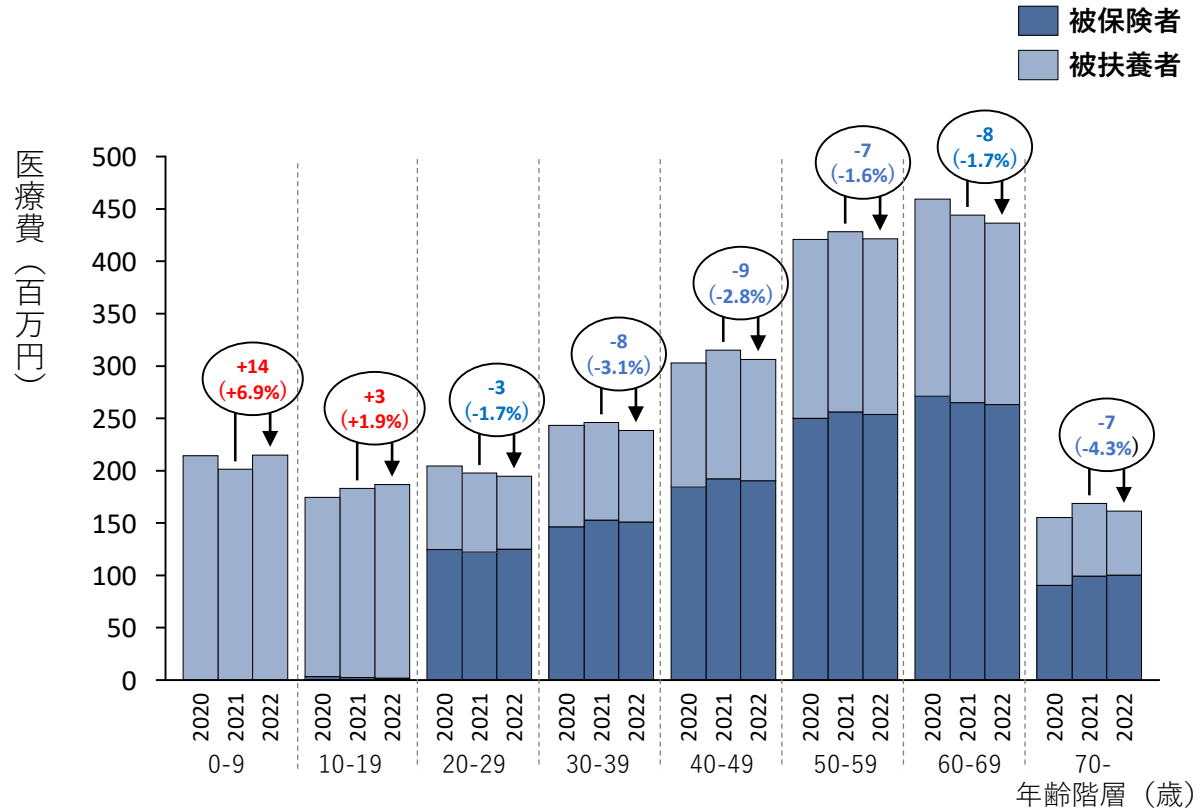
基本分析による現状の把握 ⑪ 《 歯科医療費 》

図表 歯科医療費の推移(2020(R2)年度～2022(R4)年度)

年度別 医療費推移



年度/年齢階層別 医療費推移

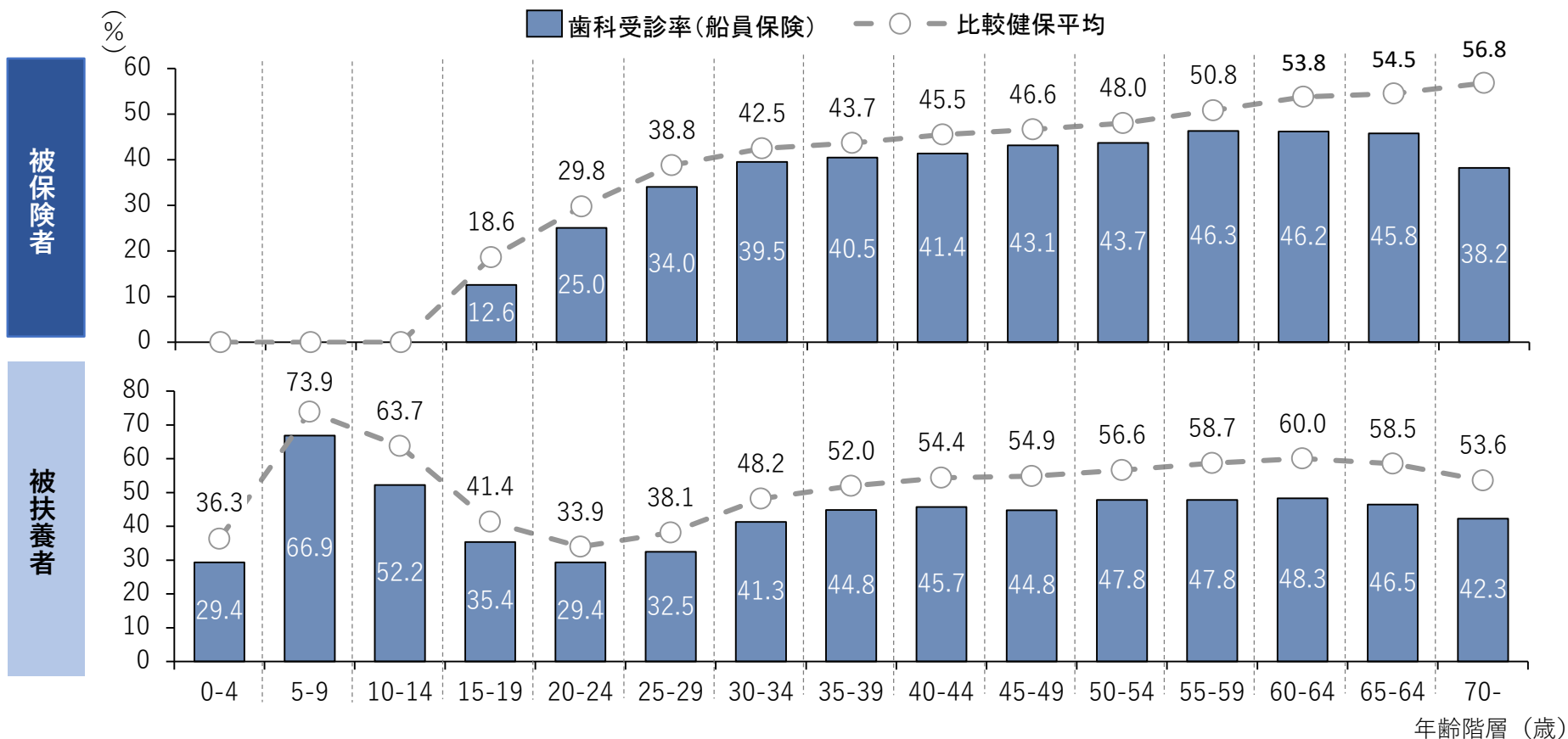


○2022(R4)年度の歯科医療費が20歳未満を除く各年代で前年度より減少しています。2021(R3)年度は新型コロナウイルス感染拡大による受診動向の変化を受けておりますが、これよりも低くなっています。

【集計対象者】：各年度在籍の加入者全て
 【集計年度】：2020(R2)～2022(R4)年度
 【集計レセプト】：歯科レセプト

基本分析による現状の把握 ⑫ 《 歯科の受診・未受診の状況 》

図表 歯科の年齢層別受療率(2022(R4)年度)



○1年間に1回でも歯科を受診した方の年齢階層別の割合を示しています。
 ○被保険者、被扶養者ともに比較健保平均より各年齢層で受療率が低くなっています。

【集計対象者】：各年度在籍の加入者全て
 【集計年度】：2022(R4)年度
 【集計レセプト】：歯科レセプト
 ※歯科受診率・・・1年間の中で1回でも歯科レセプトが発生している対象者を各年齢層の加入者数で割った割合
 【比較母集団】：294健保組合の約1,000万人データの平均値

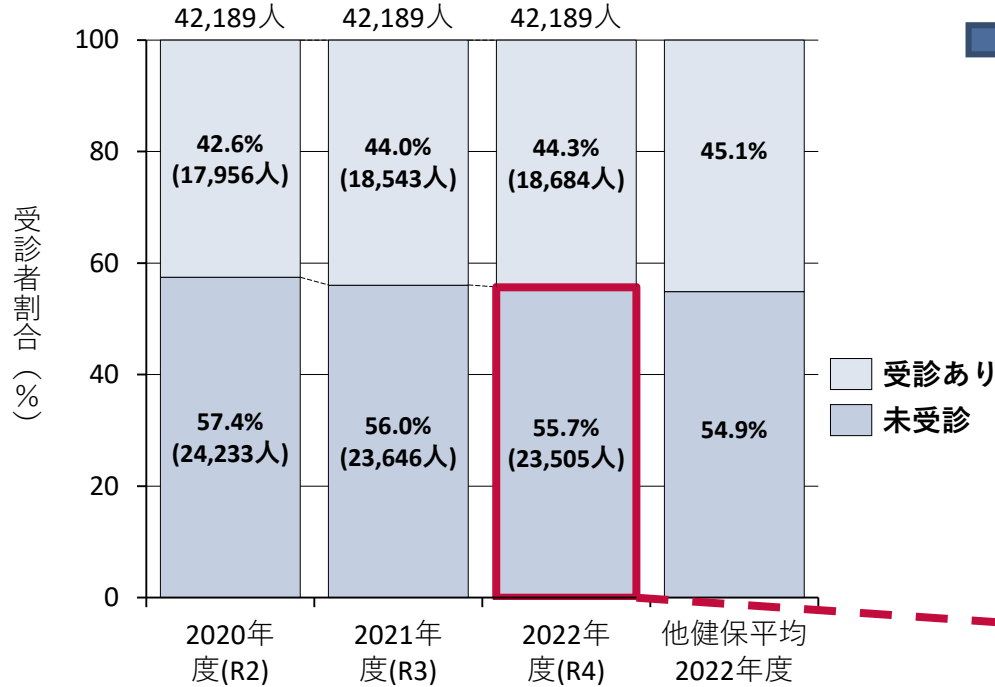
基本分析による現状の把握 ⑫ ≪ 歯科の受診・未受診の状況 ≫

図表 歯科未受診者割合の推移(2020(R2)年度～2022(R4)年度)

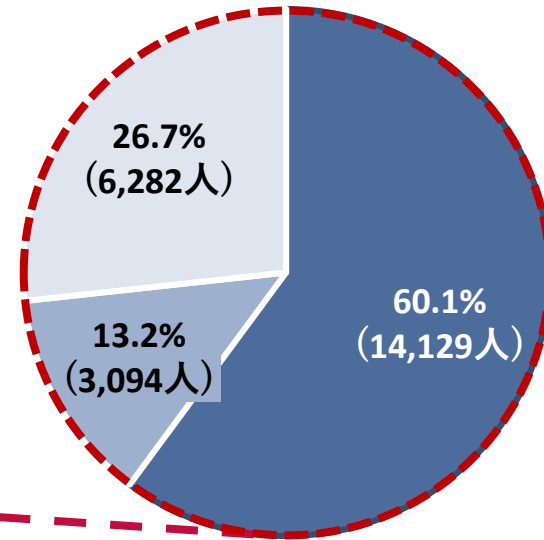
【被保険者】

歯科未受診者割合

2022(R4)年度の歯科未受診者の実態



■ 3年間連続未受診 ■ 2年間連続未受診 ■ 1年間未受診



○被保険者について、歯科を受診されていない方の60.1%が3年間全く歯科を受診していません。

【集計対象者】：2020(R2)年度～2022(R4)年度の継続加入者
 【集計年度】：2020(R2)年度～2022(R4)年度
 【集計レセプト】：歯科レセプト
 ※歯科受診率・・・1年間の中で1回でも歯科レセプトが発生している対象者を各年齢層の加入者数で割った割合
 【比較母集団】：294健保組合の約1,000万人データの平均値

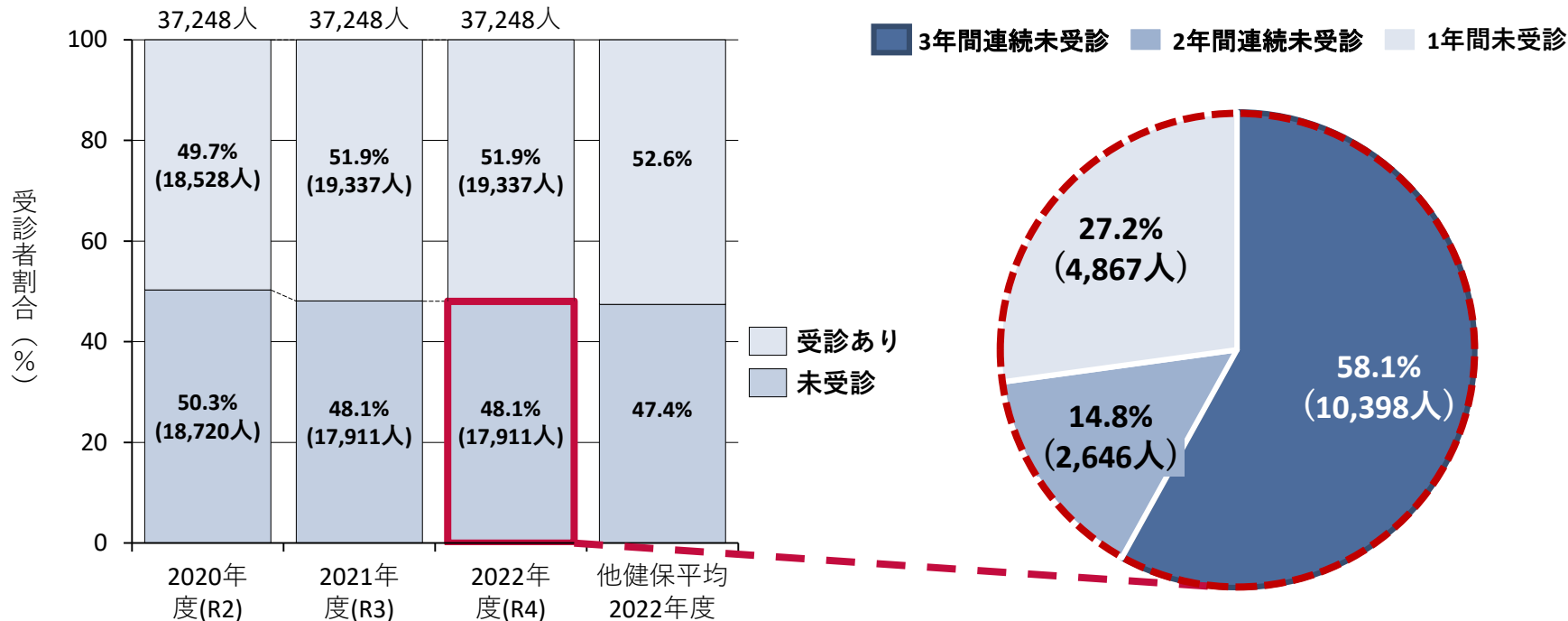
基本分析による現状の把握 ⑫ ≪ 歯科の受診・未受診の状況 ≫

図表 歯科未受診者割合の推移(2020(R2)年度～2022(R4)年度)

【被扶養者】

歯科未受診者割合

2022(R4)年度の歯科未受診者の実態



○被扶養者について、歯科を受診されていない方の58.1%が3年間全く歯科を受診していません。

【集計対象者】：2020(R2)年度～2022(R4)年度の継続加入者
 【集計年度】：2020(R2)年度～2022(R4)年度
 【集計レセプト】：歯科レセプト
 ※歯科受診率・・・1年間の中で1回でも歯科レセプトが発生している対象者を各年齢層の加入者数で割った割合
 【比較母集団】：294健保組合の約1,000万人データの平均値

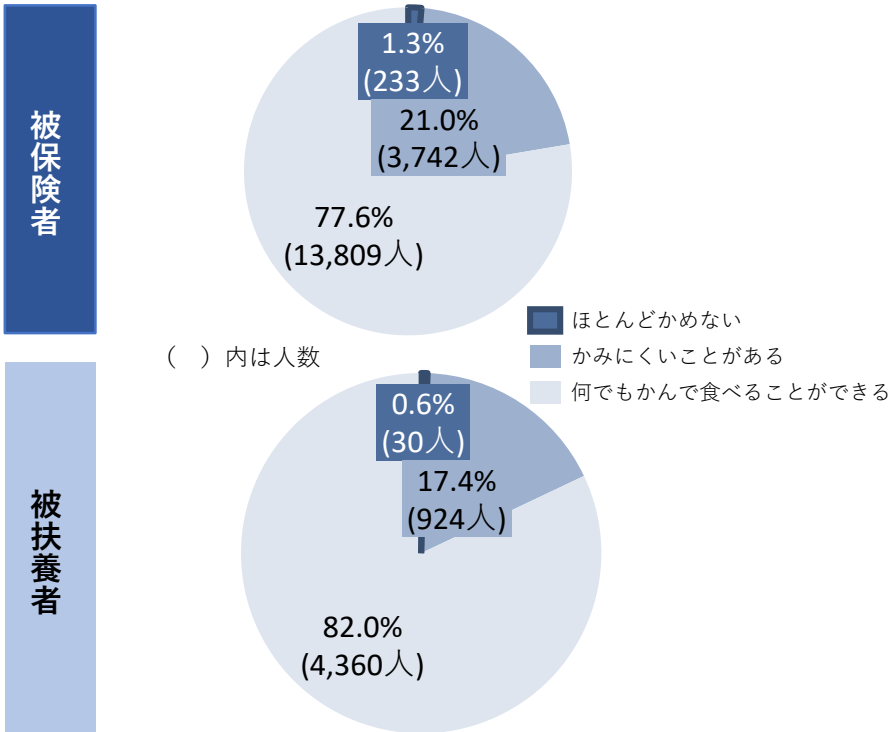
基本分析による現状の把握 ⑬ ≪咀嚼の状態≫

図表 問診回答分析(2022(R4)年度)

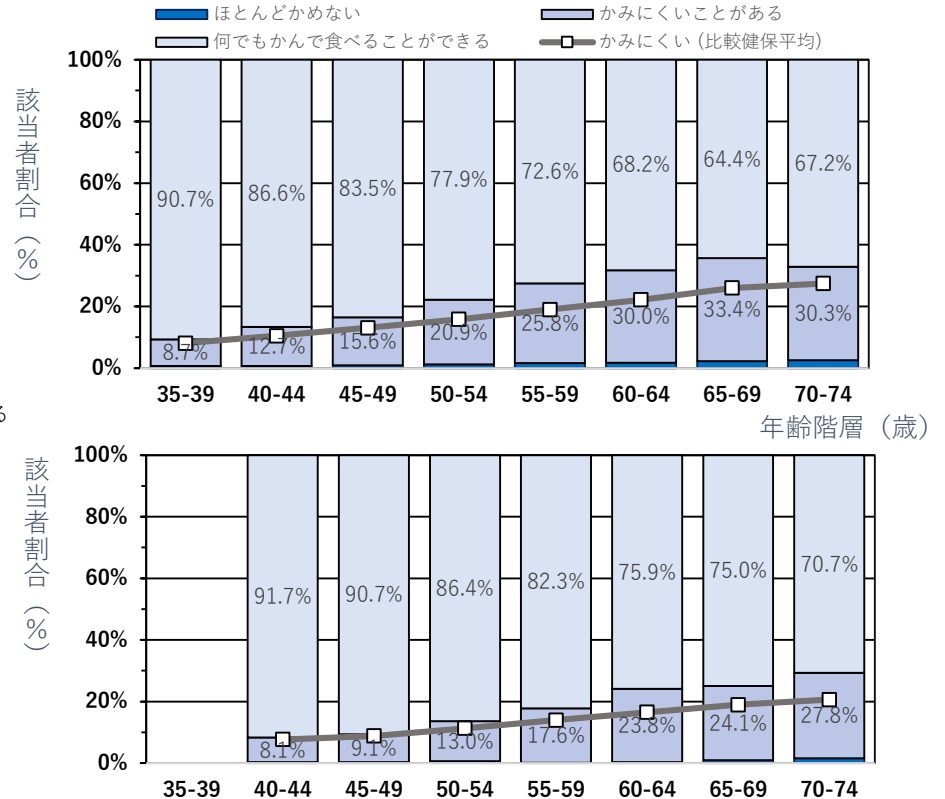
＜食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか＞

※回答データありの方のみ

構成比率



年齢階層別「ほとんどかめない」又は「かみにくい」と回答した割合



○加齢とともに「かみにくいことがある」「ほとんどかめない」と回答する割合が増加して、比較健保平均と比較して各年代で割合が高くなっています。

【集計対象者】：各年度在籍の35歳以上の被保険者および40歳以上の被扶養者かつ健診受診者

【集計年度】：2022(R4)年度

※割合・・・人数÷問診回答者数